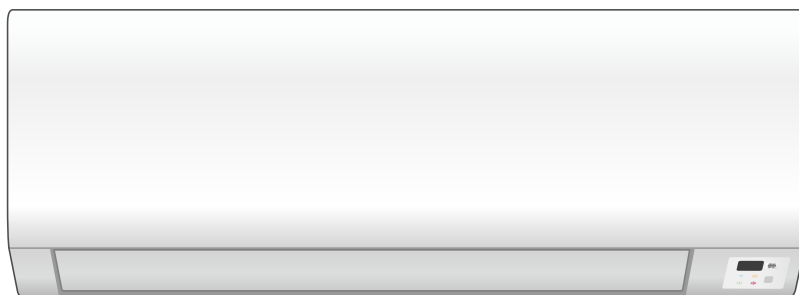


取扱説明書(WEB)

ルームエアコン[室内・家庭用]

室内ユニット／室外ユニット

型番:IHF-2202SC/IHR-2202SC



このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- ・ 一般家庭用以外でご使用にならないでください。
無償保証の対象外になることがあります。
- ・ この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ・ ご使用前に「[安全上の注意 P7](#)」を必ずお読みください。
- ・ WEB マニュアルの使いかたは、「[WEB マニュアルの使いかた P2](#)」をご確認ください。

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

WEB マニュアルの使いかた

ここでは「WEB マニュアル」の使いかたを案内します。

当サイトは下記のブラウザでの使用を推奨しています。

- ・Microsoft Edge ブラウザ(最新版)
- ・Google Chrome ブラウザ(最新版)

◆WEB マニュアルについて

■スマートフォン



■パソコン



① メニュー一覧/検索 切替ボタン(スマートフォンのみ)

☰ をタップするとメニュー一覧/検索画面が表示されます。

✕ を押すと元の画面に戻ります。

② 製品名、型番

お問い合わせ時には、製品名と型番をご連絡お願いいたします。

③ ページ内リンク

選択すると、ページ内の該当情報が表示されます。

④ 関連ページリンク

選択すると、WEB サイトや WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

⑤ メニュー

選択すると、メニュー一覧が表示されます。検索タブと切り替えて使用します。

⑥ メニューリスト

メニュー一覧を表示させます。

⑦ 検索タブ

選択すると、目的の情報を検索できるようになります。メニュータブと切り替えて使用します。

◆検索について

■スマートフォン



■パソコン



⑧ フリーワード検索

キーワードを入力することで、目的の情報を検索することができます。

⑨ 検索リスト

検索した結果が表示されます。選択すると、WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

- ・ デザインおよび仕様は予告なく変更することがあります。
- ・ Microsoft Edge は Microsoft Corporation の商標です。
- ・ Google Chrome は Google LLC の商標です。

もくじ

ご使用前に..... 7

安全上の注意 -必ずお守りください-..... 7

使用上の注意..... 14

リモコンの確認と乾電池交換方法..... 15

各部のなまえ(本体)..... 20

各部のなまえ(表示パネル)..... 22

付属品を確認する..... 24

使いかた..... 25

運転モードを設定する..... 25

温度を設定する..... 27

風量・風向を設定する..... 28

タイマー運転を設定する..... 30

快速パワー運転をする..... 34

手元温度を確認する..... 35

快適モードを設定する..... 36

エコモード+を設定する..... 37

メニューを設定する..... 38

自動内部清浄モードを設定する..... 39

手動で内部清浄運転を開始する..... 42

みはりモードを設定する..... 44

切タイマーモードを設定する..... 47

各モードの設定状態を確認する.....	50
室内ユニット本体から運転操作を行う.....	52
同じ部屋にエアコンを 2 台設置した場合.....	53

お手入れ..... 54

お手入れ時の注意.....	54
エアフィルター -2 週に 1 回程度-.....	55
室内ユニット表面 -汚れたら-.....	56
前面パネル -汚れたら-.....	57
長期間使用しないときは.....	58

こんなときは..... 59

故障かな？と思ったら.....	59
表示パネルに英数字のコードが表示されたら.....	65

アフターサービスとその他の内容..... 66

長期使用製品について.....	66
仕様.....	67
廃棄について.....	68
保証とアフターサービス.....	69
保証規定.....	70
お問い合わせ.....	71

ご使用前に

安全上の注意 -必ずお守りください-

最初に、この「安全上の注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

→ [警告 P7](#)

→ [注意 P10](#)

図記号の意味

誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、以下のように区分しています。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
 注意	誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。

お守りいただく内容を、区分して説明しています。

 分解禁止	 禁止	 指示を守る
 ぬれ手禁止	 電源プラグを抜く	 アース線接続



電源プラグ・電源コードは正しく使う

 必ず実施	・ 電源プラグのほこりは定期的に取り ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。 ・ 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む ショートによる火災・感電の原因になります。 ・ 電源は必ずルームエアコン専用のコンセントに接続する 他と共用のコンセントや古いコンセントは使用しないでください。 火災・感電の原因になります。
 ぬれ手禁止	・ ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない 感電・やけど・けがの原因になります。

 禁止	・電源コードを束ねて通電しない 過熱してやけど・火災の原因になります。 電源コードは、必ずのばして使用してください。 ・電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない ショートによる火災・感電の原因になります。 電源コードが破損したときは、アイリスコール P71 (☎ 電話をかける) へお問い合わせください。 ・電源コードを傷付けない ・電源コードをステーブルなどで固定しない 傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。 ・延長コードは使用しない ・電源プラグを抜いてエアコンを停止しない 火災・感電の原因になります。
---	--

設置について

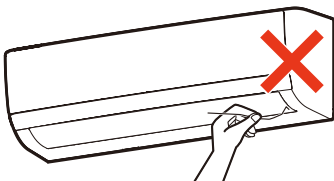
 必ず実施	・設置・移設はお買い上げの販売店または設置専門業者に依頼する 自分で行うと、火災・破裂・感電・けが・水もれの原因になります。 ・アース工事は販売店または専門業者に依頼する アースが不完全だと、感電の原因になります。 ・可燃性ガスのもれるおそれのない場所に、据え付けされていることを確認する 万一ガスがもれてユニットの周囲にたまると、発火の原因になります。
 禁止	・アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない 爆発・火災の原因になります。 ・指定の冷媒(R32)以外は使用禁止 本製品は R32 専用です。 指定以外の冷媒を使用すると、故障や破裂、けがなどの原因となります。

異常時には

 プラグを抜く	・異常時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く 発煙・火災・感電のおそれがあります。 〔異常の例〕 - 内部に水・異物などが入った - 異常な音やにおいがする - 変形したり、ひび割れしたりしている - 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
---	---

	- 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする - 触れるとピリピリ電気を感じる ■使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコール P71(☎ 電話をかける)へお問い合わせください。
--	---

その他使用時の禁止事項

 禁止	・ 吹出口・吸気口・すき間から物や手を入れない 内部には高速回転するファンや高電圧部があるので、感電やけがの原因になります。 
 禁止	・ 乳幼児や身動きできない方(病気やけが)は単独で使 用しない 次のような方がご使用になる場合は、お手数でも周りの方が注意してください。 - 乳幼児、お子様、お年寄り、病気の方、身体の不自由な方 - 深酒や睡眠薬を飲まれた方 感電やけが、体調不良の原因になります。
 水ぬれ禁止	・ 室内ユニット本体を水につけたり、本体に水をかけない 火災・感電の原因になります。
 禁止	・ 工具を使った分解掃除や、内部の洗浄は自分で行 わない 誤った方法で分解掃除や内部の洗浄を行うと、破損して火災や感電の原因になります。エ アコン内部の洗浄は専門の業者に依頼してください。



注意

リモコンの乾電池についての注意

 必ず実施	- 乾電池を入れるときは、極性表示(プラス+とマイナス-の向き)に注意し、説明書の通りに正しく入れる 間違えると、破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になります。 - 長期間使用しないときは乾電池を取り出しておく 液がもれて、火災やけが、周囲の汚損の原因になります。 液がもれた場合は、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい乾電池を入れてください。 万一、もれた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。 - 新旧、異種の乾電池を混ぜて使用しない
 分解禁止	分解しない 皮膚や衣服を損傷することがあります。
 禁止	- 金属製の小物類と一緒に携帯・保管しない ショートして液もれや破裂の原因になることがあります。 - 指定以外の乾電池は使用しない 過熱・破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になることがあります。 - 乾電池は絶対に充電しない 破裂・液もれにより、火災・けが・やけどの原因になります。 - 乳幼児の手の届くところに置かない 誤操作による体調悪化、誤飲の原因になります。

室内ユニットについて

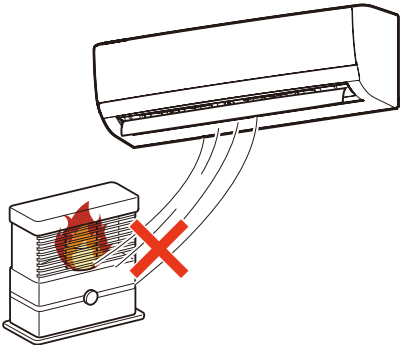
 禁止	- 室内ユニットの下に他の電気製品や家財を置かない 水滴が落ちることがあり、汚損や故障の原因になります。 - 室内ユニットの上に物を載せない - 室内ユニットに洗濯物などをかけない 落下して、けがや火災の原因になります。また、風の流れをふさぐと、過熱して火災の原因になります。 - 吹出口・吸気口を布や紙、ビニール袋でおおったりふさいだりして運転しない
---	--

- ・ 風の流れをさえぎるようなものを周囲に置かない
過熱して火災の原因になります。

お手入れについて

 必ず実施	・ 前面パネルやエアフィルターを水洗いしたときは、水気を拭き取って、よく乾かしてから取り付ける 水気が残っていると感電の原因になります。
 禁止	・ お手入れのときは、不安定な台に乗らない 転倒してけがの原因になります。 ・ 室内ユニット内部の金属部に触れない けがをするおそれがあります。

その他使用時の禁止事項

 禁止	・ 食品・医薬品・美術品・学術資料の保存、動植物の飼育や栽培など、業務・特殊用途に使用しない 本製品は家庭用として設計されています。業務・特殊用途に使用すると、保存品の劣化、動植物への害、およびエアコンの故障の原因になります。 ・ 長時間冷風を身体に当てない ・ 冷房温度を下げすぎない 特に、小さなお子様やお年寄りには注意してください。体調が悪化したり健康を害する原因になります。 ・ 動植物に直接風を当てない 害を与えるおそれがあります。 ・ 風をストーブなどの燃焼器具に向けない 不完全燃焼や炎の飛散を引き起こし、一酸化炭素中毒や火災の原因になります。  ・ 煙や霧が出るくん煙タイプの殺虫剤を使うときは運転しない エアコン内部に薬剤成分が蓄積し、その後の運転で放出されて、健康を害するおそれがあります
---	--

	す。 殺虫剤の使用後は、十分換気してから運転してください。
 禁止	・ 床にワックスがけをするときは運転しない エアコン内部にワックス成分が付着し、水もれの原因になります。ワックスがけの後は、十分に換気してから運転してください。
 必ず実施	・ 燃焼器具と一緒に使う場合は換気する 一酸化炭素中毒の原因になります。 ※本製品は、一酸化炭素などの有害物質を除去するものではありません。 ・ 燃焼器具は風が直接当たらない場所で使用する 不完全燃焼の原因になります。

ドレン水について

 必ず実施	・ ドレン水(エアコンから発生する水)が確実に排水されていることを確認する ドレンホース(排水管)は、流れやすいように必ず下り勾配を付けてください。 ドレン水がスムーズに流れないと、水もれや異音(ポコポコ)の原因になります。
---	--

電源プラグ・電源コードについて

 プラグを抜く	・ 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く 絶縁低下により、火災・感電の原因になります。 ・ お手入れするときは、必ず運転を停止して、電源プラグを抜く けがの原因になります。 ・ 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
--	---

異常時は

 必ず実施	・ エアコンを運転しても冷えないときは、販売店または修理専門業者に相談する 冷媒がもれているおそれがあります。冷媒自体は無害ですが、室内にもれて、他のガスと混合したり、火気に触れたりすると、有害な成分が発生する原因になります。
--	---

室外ユニットについて

 必ず実施	・ 1年に1度は、室外ユニットの設置台などが傷んでいないか確認する 落下・転倒によるけがの原因になります。
 禁止	・ 上に乗ったり、物を載せたりしない 落下・転倒によるけがの原因になります。 ・ 室外ユニットをシートなどでおおったり、周囲に物を置いたりしない 過熱して火災の原因になります。 ・ 室外ユニットの周囲にごみや落ち葉をためない 小動物が侵入し、漏電や火災の原因になります。

使用上の注意

使用について

- ・ エアフィルターが汚れていると室内ユニット内の結露が多くなり水滴が発生しやすくなりますので、エアフィルターを取り外してお掃除してください。
エアフィルターのお手入れ後も冷房が効かない場合は、ガスもれの可能性がありますので、お買い上げの販売店へご相談ください。
- ・ 落雷のおそれがあるときは運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
落雷の程度によっては、故障の原因になります。
- ・ この機器は安全に責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人(子どもを含む)が単独で機器を用いることを意図しておりません。
- ・ この機器で遊ぶことがないように、子どもに注意してください。
- ・ 機器の設置は、据付説明書をご確認いただき国の配線規則にしたがって行ってください。

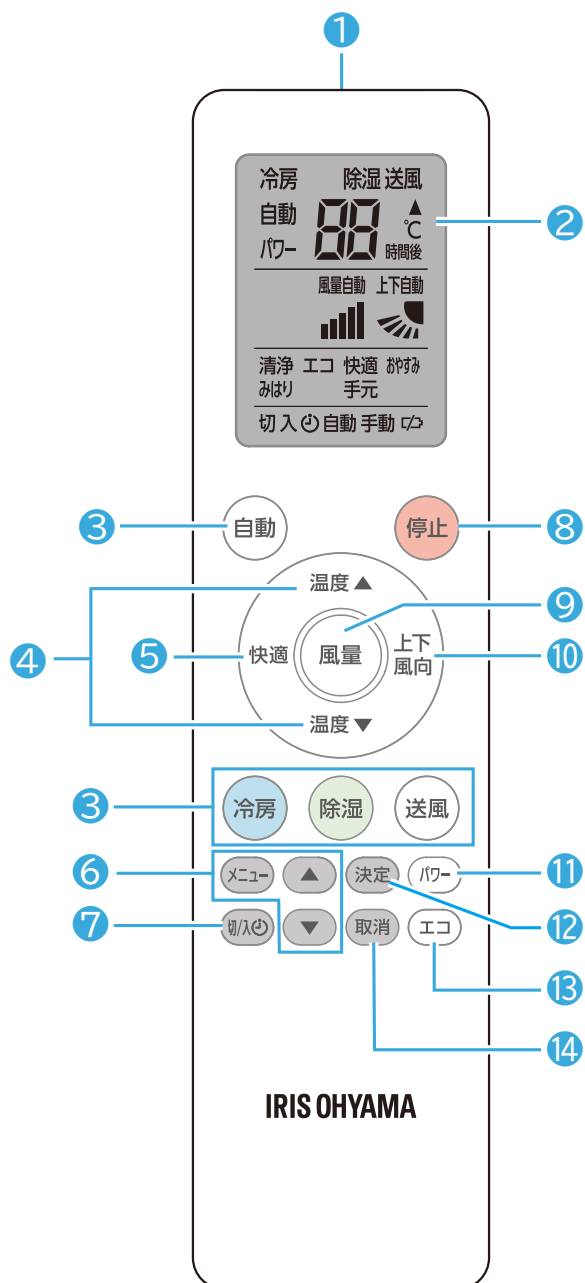
■設置について

- ・ テレビやラジオなどの AV 機器から 1 m 以上離してください。
電波障害の原因になります。

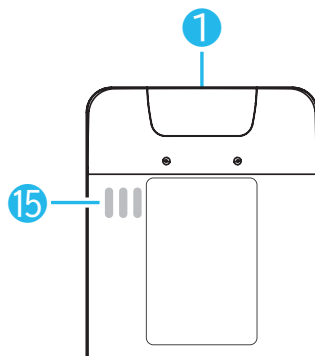
リモコンの確認と乾電池交換方法

→ [乾電池の交換方法 P18](#)

■ 表面



■ 背面



① 送信部

室内ユニット表示パネルの受信部に向けて操作してください。

② 表示部

運転の状態などを表示します。

(図は説明のため、すべてを表示しています。)

③ 運転モードボタン

選んだモードで運転が始まります。

運転中に押すと、選んだモードに切り替わります。(→[運転モードを設定する P25](#))

④ 温度 ▲／▼ボタン

運転中に設定温度を変更します。

16 ～ 30℃の範囲で設定できます。(→[温度を設定する P27](#))

⑤ 快適ボタン

身近にリモコンを置いてください。リモコンに内蔵されている温度センサーで室温を調節します。(冷房運転のみ)

冷房運転中にボタンを押すと、快適モード運転に切り替わります。(→[快適モードを設定する P36](#))

⑥ メニュー操作ボタン

内部清浄モード、おやすみタイマー、みはりモード、手元温度確認などのメニュー設定ができます。(→[メニューを設定する P38](#))

メニューボタンを 5 秒長押しで、リモコンアドレス設定ができます。(→[同じ部屋にエアコンを 2 台設置した場合 P53](#))

⑦ タイマーボタン

切タイマーと入タイマーの設定ができます。(→[タイマー運転を設定する P30](#))

切タイマー設定時は、メニュー操作で選んだモードの切タイマー運転を開始します。(→[切タイマーモードを設定する P47](#))

⑧ 停止ボタン

運転を停止します。

⑨ 風量ボタン

運転中に押すと、風量が切り替わります。(→[風量・風向を設定する P28](#))

⑩ 上下風向ボタン

上下の角度を変更します。運転を停止すると上下フラップは閉じます。(→[風量・風向を設定する P28](#))

⑪ パワーボタン

通常の運転より早く冷房をします。(→[快速パワー運転をする P34](#))

60 分間経過すると通常運転に切り替わります。

⑫ 決定ボタン

メニュー操作中の選択などができます。

⑬ エコボタン

無駄に冷やしすぎない、電力を抑えた運転をします。

冷房運転中にボタンを押すと、エコモード + 運転に切り替わります。(→[エコモード+を設定する P37](#))

⑭ 取消ボタン

メニュー操作の中断、タイマー設定の取消ができます。

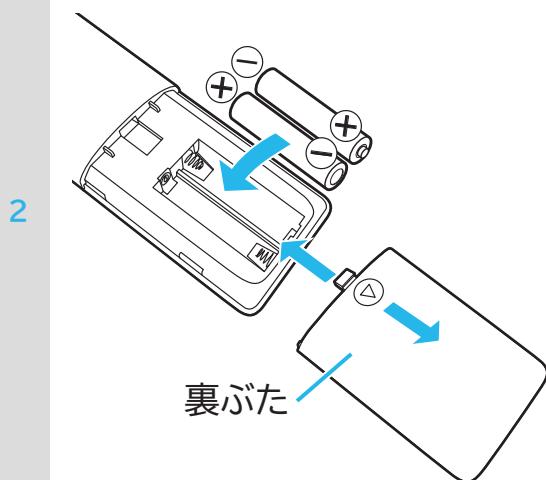
⑮ 温度センサー(内蔵)

ー 乾電池の交換方法

リモコンの表示部に  マークが点灯したときは、早めに乾電池を交換してください。新しい乾電池(単 4 形乾電池×2 本)を用意し交換してください。

1 裏ぶたを押さえながら下にずらす

古い乾電池を取り出し、新しい乾電池を入れる



3 裏ぶたを閉める

乾電池について

- ・ 液もれや破裂によるけがや故障を避けるため、長期間使用しないときは、取り出してください。
- ・ 受信しにくくなったり、リモコンの表示が薄くなりましたら、2 本同時に新しい単 4 形乾電池と交換してください。
- ・ 種類や使用状態によって、使用期間が短くなることがあります。
※同梱されている乾電池は動作確認用ですので早く消耗することがあります。

ご注意ください

乾電池の使いかたを誤ると、液もれや発熱、破裂によるけがや機器故障の原因となります。

注意事項を守って安全にご使用ください。

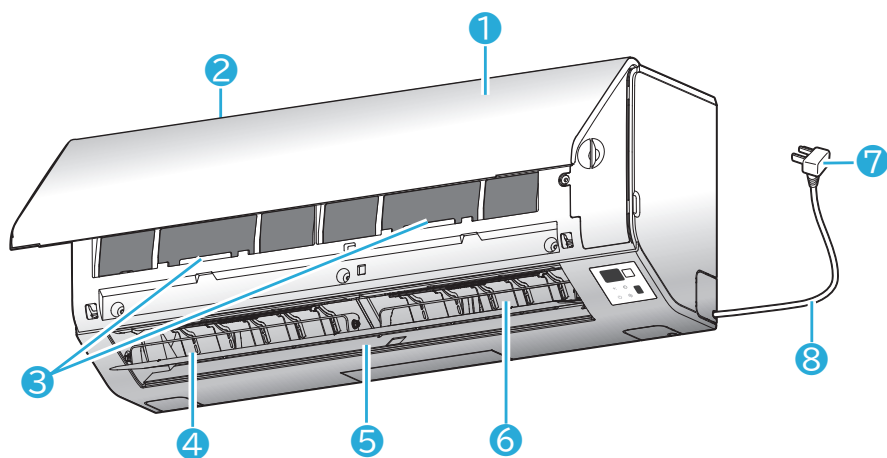
- ・ 液がもれて目に入ったときは、こすらず、すぐに水で十分に洗い、医師の治療を受けてください。
- ・ 新旧、異種の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・ 乾電池交換時は、全設定が初期設定に戻ります。乾電池交換時は、再度設定を行ってください。

関連ページ

- [付属品を確認する P24](#)

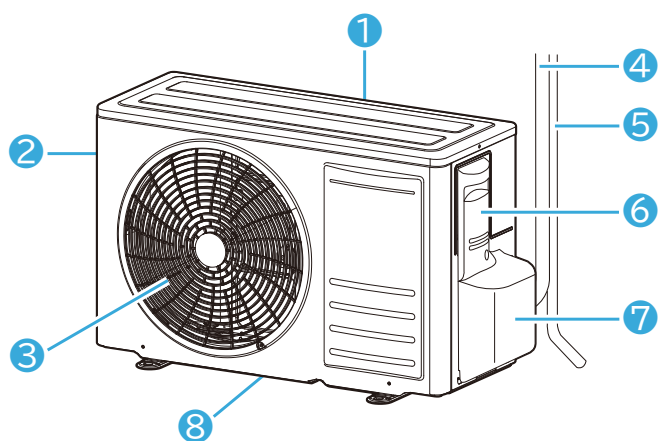
各部のなまえ(本体)

—室内ユニット



- ① 前面パネル
- ② 吸気口(上面)
- ③ エアフィルター(左右 2 枚)
- ④ 左右ルーバー(手動)
- ⑤ 上下フラップ
- ⑥ 吹出口
- ⑦ 電源プラグ
- ⑧ 電源コード

—室外ユニット



- ① 吸気口(背面)
- ② 吸気口(側面)
- ③ 吹出口
- ④ 配管と電気配線

⑤ ドレンホース

水が流れ出ます。周囲に物を置かないようご注意ください。

⑥ アース端子(内部)

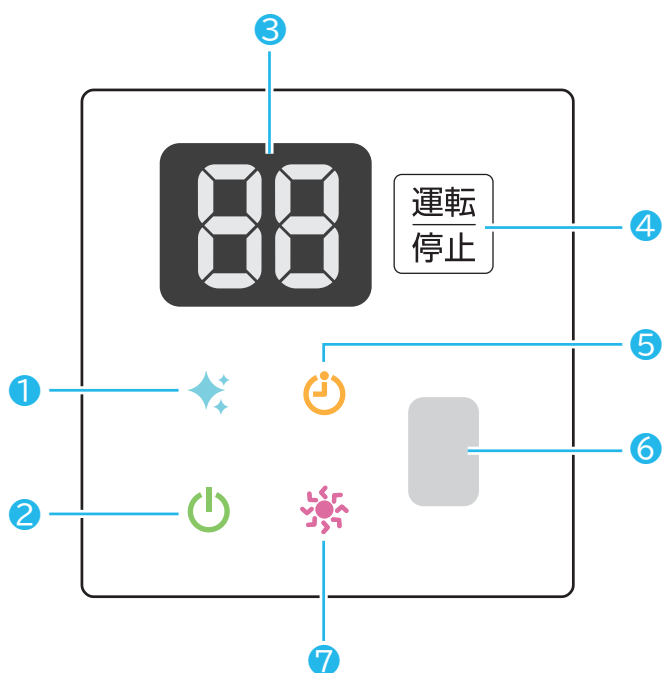
⑦ 端子板カバー

⑧ 排水口(底面)

内部から水が流れ出ることがあります。

各部のなまえ(表示パネル)

実際の表示は、浮かび上がるように表示されます。



① 内部清浄ランプ(青)

冷房または除湿を 10 分以上運転した後、停止すると内部清浄が始まります(約 80 ～ 120 分間)。

(→ [自動内部清浄モードを設定する P39](#)、[手動で内部清浄運転を開始する P42](#))

※ 内部清浄モードは室内ユニット内部のにおいやカビの発生を抑える機能です。

② 電源ランプ(緑)

③ エラー表示部／タイマー設定時間表示部／モード設定状態表示部

- 異常時、エラー内容を表示します。(→ [表示パネルに英数字のコードが表示されたら P65](#))

- メニュー操作により各モードの設定状態が確認できます。(→ [各モードの設定状態を確認する P50](#))

④ 運転/停止ボタン

停止中に押すと運転モード「自動」で運転します。もう一度押すと停止します。

(→ [室内ユニット本体から運転操作を行う P52](#))

※ リモコンが使えないときなどにご使用ください。

⑤ タイマーランプ(オレンジ)

⑥ 受信部

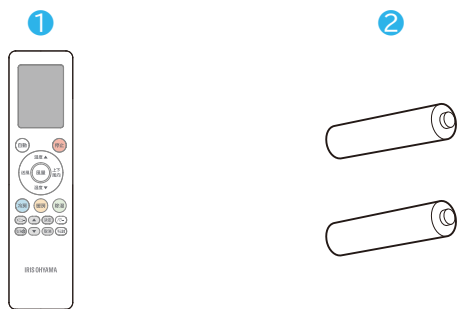
リモコンからの信号を受信します。

⑦ みはりランプ(白・赤)

— ランプ表示一覧

ランプ表示		状態	お知らせしている内容
	電源ランプ	点灯	自動・冷房・除湿・送風運転中
	内部清浄ランプ	点灯	内部清浄運転中
		点滅	内部清浄設定時、その後消灯
	タイマーランプ	点灯	切タイマー・入タイマー設定中
	みはりランプ	点灯	エアコンが停止しているとき、 みはりモード設定が「入」
		点灯	みはり運転(冷房運転)中

付属品を確認する



① リモコン×1

② 乾電池(単4形)×2

関連ページ

- [乾電池の交換方法 P18](#)

使いかた

運転モードを設定する

❗ お願い

エアフィルターが確実に取り付けられていることを確認してください。

ほとんどの操作はリモコンで行います。

- ・ リモコンの送信部を、本体正面の受信部に向けて操作してください。

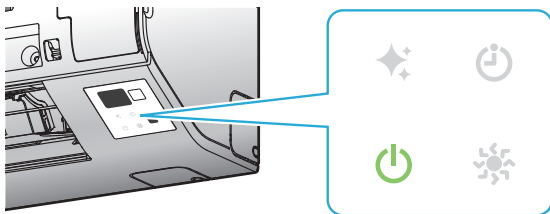
※ 角度や距離によっては信号が受信できないことがあります。できるだけ本体の受信部正面から、受信できる距離で操作してください。(正面で約 7m 以内)

— 運転する



のいずれかの運転モードボタンを押す

表示パネルの電源ランプが点灯し、選んだモードで運転が始まります。



運転中に他の運転モードボタンを押すと、モードが切り替わります。

各種モード

自動

- ・ 20 ～ 25℃を目標に運転します。
- ・ 自動運転は設定温度の変更ができません。
風量、風向の変更はできます。

冷房

- ・ 設定した温度を目標に冷房運転をします。(設定範囲:16℃～30℃)
- ・ 風量自動に設定した場合、風量を自動で切り替えて運転します。
(室内ユニット・室外ユニットの音が大きくなる場合があります。)

除湿

- ・ 設定した温度を目標に除湿運転をします。(室温より低い温度に設定しないと除湿運転を行いません。)(設定範囲:16℃～30℃)
- ・ 風量は自動となり、変更ができません。

送風

- ・ 送風運転を行います。
- ・ 風量の変更ができます。

— 運転を停止するには



を押して運転を停止する

表示パネルの電源ランプが消灯し、上下フラップが閉じて、運転が停止します。



消灯

関連ページ

- ・ [温度を設定する P27](#)
- ・ [風量・風向を設定する P28](#)
- ・ [タイマー運転を設定する P30](#)
- ・ [メニューを設定する P38](#)

温度を設定する



運転中に  または  を押すと、設定温度が変更されます。

設定した温度はリモコンに表示されます。

22℃

ポイント

- ・ 16～30℃の範囲で設定できます。
- ・ 送風運転中は温度の設定はできません。

関連ページ

- ・ [リモコンの確認と乾電池交換方法 P15](#)
- ・ [運転モードを設定する P25](#)

風量・風向を設定する

一 風量設定

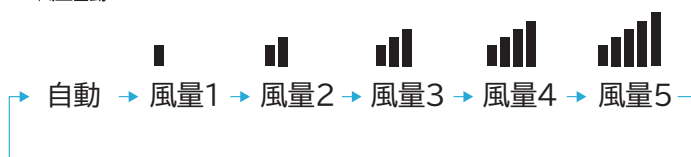


を押す



自動、冷房または送風運転中は を押すたびに風量が切り替わります。

風量自動



ポイント

- ・ 除湿運転の風量は自動となり、変更ができません。
- ・ 送風運転時は風量自動は設定できません。

一 風向調節(上下)



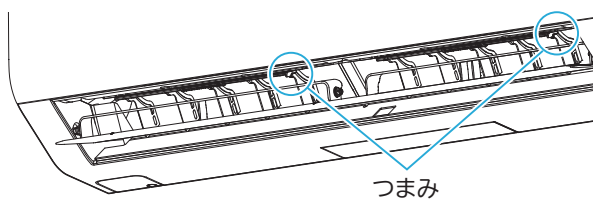
- ・ 運転中に を押すと、上下フラップの角度を変更できます。

上下自動



—風向調節(左右)

- ・ 内側にある縦の左右ルーバーのつまみを持って動かし、調節します。



関連ページ

- ・ [リモコンの確認と乾電池交換方法 P15](#)
- ・ [運転モードを設定する P25](#)

タイマー運転を設定する

一切タイマーを設定する

運転中に設定した時間が経過すると運転を停止させる機能です。(運転停止中には設定できません。)

切タイマーは以下のモードがあり、あらかじめメニュー設定でお好みのタイマーモードを設定しておく必要があります。(→[切タイマーモードを設定する P47](#))

お買い上げ時は、24 時間切タイマーに設定されています。

■24 時間切タイマー

設定時間が経過後、運転が停止します。

■おやすみタイマー

切タイマー設定後、設定した時間まで自動で温度調節を行い、冷やしすぎを防ぎます。(冷房運転中のみ)

設定時間が経過後、運転が停止します。

■快適おやすみタイマー

切タイマー設定後、リモコンを身近に置くことでより体感温度に近い温度調節を行い、睡眠時間に合わせて心地よい睡眠を促す運転をします。(冷房運転中のみ)

設定時間が経過後、運転が停止します。

運転中に  を押す

24 時間切タイマー	おやすみタイマー	快適おやすみタイマー
		

 /  を押して、設定したい時間に合わせる

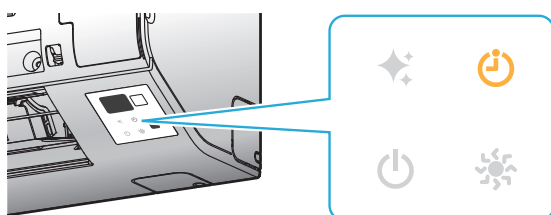
-  を押すと設定時間が 1 時間ずつ増え、 を押すと設定時間が 1 時間ずつ減ります。
- 設定時間の範囲は 24 時間切タイマーは 1～24 時間、おやすみタイマー・快適おやすみタイマーは 4～10 時間です。

24 時間切タイマー	おやすみタイマー	快適おやすみタイマー

決定

を押すと切タイマーが設定される

- 表示パネルのタイマーランプが点灯し、表示部に設定した時間が表示された後、表示部は消灯します。



24 時間切タイマー	おやすみタイマー	快適おやすみタイマー

切タイマーを取り消すには

取消

を押してください。設定されていた切タイマーが取り消され、表示パネルのタイマーランプは消灯します。

停止

- を押して運転を停止させた場合も切タイマー設定が取り消されます。
- 切タイマーのモードを変更させた場合(→[切タイマーモードを設定する P47](#))も、切タイマー設定が取り消されます。

ポイント

- 切タイマーで停止した後は、内部清浄運転(→[自動内部清浄モードを設定する P39](#))を行いません。毎回切タイマーで運転停止しているときは、定期的に手動内部清浄運転を行ってください。(→[手動で内部清浄運転を開始する P42](#))

入タイマーを設定する

運転停止中に設定した時間が経過すると運転を開始させる機能です。(運転中には設定できません。)

入タイマーでの運転は、停止前に設定していた運転モードで開始します。

1

停止中に  を押す



2

 /  を押して、設定したい時間に合わせる

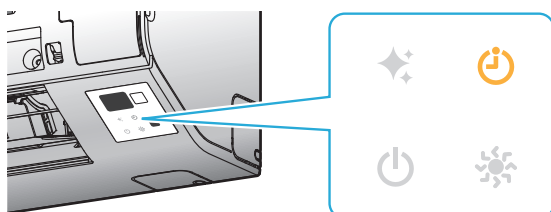
-  を押すと設定時間が 1 時間ずつ増え、 を押すと設定時間が 1 時間ずつ減ります。
- 設定時間の範囲は 1～24 時間です。

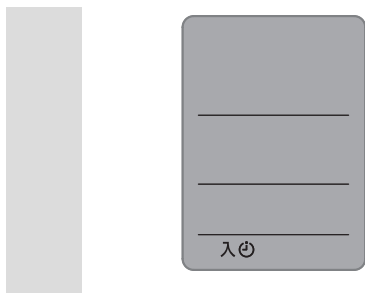


3

 を押すと入タイマーが設定される

- 表示パネルのタイマーランプが点灯し、表示部に設定した時間が表示された後、表示部は消灯します。





入タイマーを取り消すには

取消

を押してください。設定されていた入タイマーが取り消され、表示パネルのタイマーランプは消灯します。

自動

冷房

除湿

送風

- のいずれかを押して運転モードを開始させた場合も入タイマー設定が取り消されます。

停止

- を押した場合も入タイマーが取り消されます。

関連ページ

- [リモコンの確認と乾電池交換方法 P15](#)
- [運転モードを設定する P25](#)

快速パワー運転をする

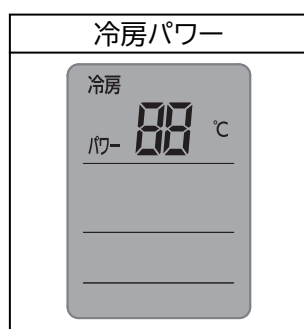
通常の運転より早く冷房をします。

60 分間経過すると通常の運転に切り替わります。

冷房運転中に  を押す

または運転停止中に  を押し、5 秒以内に  を押す

1



手元温度を確認する

リモコン周辺の温度をリモコン表示部に表示します。

1

を押す

2

 / を押して、リモコン表示部に「手元」を表示させる



3

を押す

温度が表示されます。



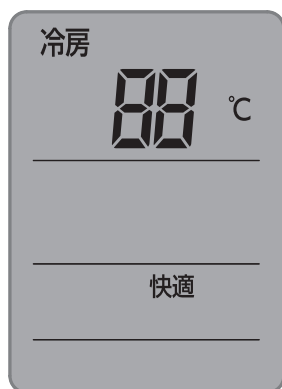
快適モードを設定する

快適モードは、リモコンに内蔵されている温度センサーで室温を調節します。(冷房運転のみ)

リモコンの準備

- ・ 快適モードを使用する場合は、身近にリモコンを置いて、リモコン送信部を室内ユニットの方に向けてください。

1
冷房運転中、を押す
または運転停止中に  を押し、5 秒以内に  を押す



2
快適モード運転を終了するには、再度  を押す

エコモード+を設定する

運転開始時の電力を抑えます。

その後の運転もリモコンと室内ユニットの 2 か所の温度のうち設定温度に近い方を優先して温度調整することで電力を抑えた運転をします。

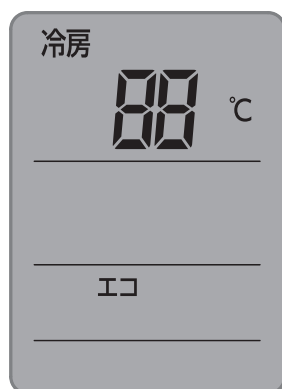
リモコンの準備

リモコン送信部を室内ユニットの方に向けてください。

冷房運転中、を押す

または運転停止中にを押し、5 秒以内にを押す

1



2

エコモード+運転を終了するには、再度を押す

メニューを設定する

リモコンの  を押すことで、各種機能の設定・確認や、手動で内部清浄運転を行うことができます。

メニュー設定項目一覧

設定項目	こんなときに
自動内部清浄モード設定	運転停止後の内部清浄運転の設定を変更できます → 自動内部清浄モードを設定する P39
手動内部清浄運転	内部清浄運転を開始します → 手動で内部清浄運転を開始する P42
みはりモード設定	みはりモードの設定を変更できます。 → みはりモードを設定する P44
切タイマーモード設定	切タイマーモードの設定を変更できます → 切タイマーモードを設定する P47
各モードの設定確認	各モードの「入」/「切」の確認ができます → 各モードの設定状態を確認する P50
手元温度の確認	リモコン周辺の温度をリモコンに表示します → 手元温度を確認する P35

 を押した後、 /  を押すことで、設定したい項目が順に入れ替わります。

設定したい項目で  を押すと、その項目の設定が行えます。

ポイント

メニュー設定操作を中断したいときは、 ボタンを押してください。

関連ページ

- ・ [運転モードを設定する P25](#)

自動内部清浄モードを設定する

内部清浄モードは室内ユニット内部のにおいやカビの発生を抑える機能です。

内部清浄モードが「入」になっているとき、冷房もしくは除湿を 10 分以上運転した後、

停止

を押すことで内部清浄運転が

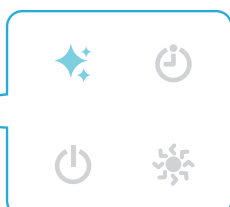
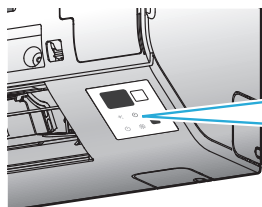
開始します。

自動内部清浄モードの設定を行う

メニュー → ▲ / ▼ → 決定

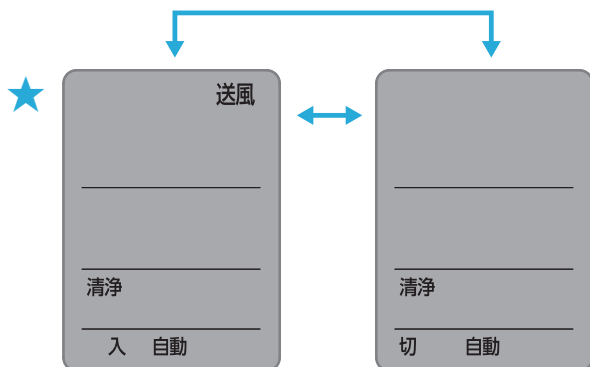
▲ / ▼ を押すことでメニュー設定項目が切り替わります。

下のリモコン表示で 決定 を押してください。



(内部清浄モード「入」:点滅、内部清浄中:点灯)

設定内容を選択する
(★はお買い上げ時の設定)



① 送風内部清浄

② 内部清浄切

設定完了

- ① 送風内部清浄(「送風」「入」「清浄」「自動」が表示されているとき)
運転停止後に送風のみの内部清浄運転を行います。(約 80～120 分)
- ② 内部清浄切(「切」「清浄」「自動」が表示されているとき)
運転停止後に内部清浄運転を行いません。

内部清浄運転を途中で止めたいとき

停止

- ・ 内部清浄運転中に **停止** を押す。(内部清浄モードの設定は継続されます。)
※途中で止めると室内ユニット内部のにおいやカビの発生を抑える効果はありません。

ポイント

- ・ 切タイマーにより運転が停止した場合は内部清浄運転を行いません。
- ・ 室内ユニット本体の **運転停止** を押して運転を停止した場合には内部清浄運転を行いません。

ご注意ください

- ・ 室内温度が低く、湿度が高いときに運転すると、壁や窓などに結露することがあります。
- ・ 内部清浄運転中は風量・風向は変更できません。

関連ページ

- ・ [メニューを設定する P38](#)

手動で内部清浄運転を開始する

今すぐ内部清浄運転を開始したいときにご使用ください。

毎回切タイマーで運転停止しているとき、自動内部清浄の設定を「切」にしているとき、シーズンの終わりにすべてをきれいにしたいときにご使用ください。

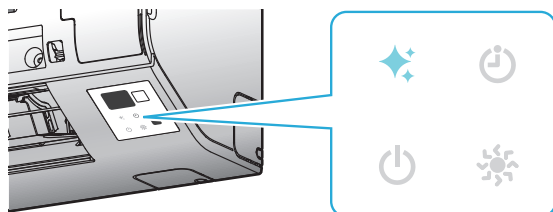
手動内部清浄運転を行う



▲ / ▼ を押すことでメニュー設定項目が切り換わります。

下のリモコン表示で 決定 を押してください。

1



(内部清浄中:点灯)

内部清浄運転が開始

(リモコン表示は 10 分後に元の表示に戻ります。)

2



途中で止めたいとき

- 内部清浄運転中に 停止 を押す。(自動内部清浄モードの設定は継続されます。)

ポイント

- 冷房などの運転中に手動内部清浄運転を行うと、終了後、動作前の運転に戻ります。

ご注意ください

- ・ 内部清浄運転中は風量・風向は変更できません。

関連ページ

- ・ [メニューを設定する P38](#)

みはりモードを設定する

みはりモードは、リモコンに内蔵されている温度センサーで室温を調節します。

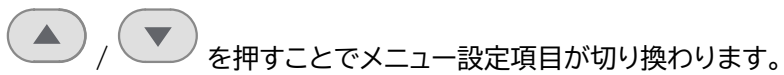
停止中に部屋の温度をみはり、部屋の温度が高くなりすぎるのを防ぎます。

高温を検知すると自動で冷房運転を行います。

リモコンの準備

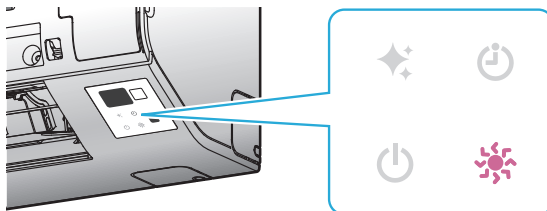
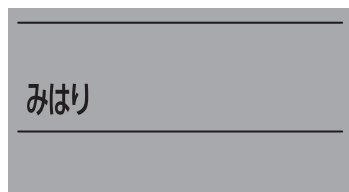
- みはりモードを使用する場合は、リモコン送信部を室内ユニットの方に向けてください。

みはりモードの設定を行う



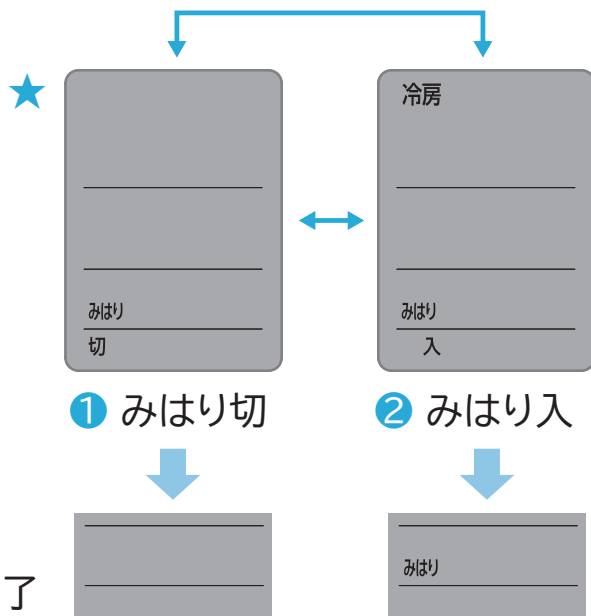
下のリモコン表示で **決定** を押してください。

1



(みはりモード待機中: 白点灯、みはりモード冷房中: 赤点灯)

設定内容を選択する
(★はお買い上げ時の設定)



① みはり切(「みはり」「切」が表示されているとき)

みはりモードは無効になります。

② みはり入(「冷房」「みはり」「入」が表示されているとき)

「冷房」「みはり」「入」が表示されている状態で設定してください。室内温度 28℃以上を目安に冷房運転を行います。

ご注意ください

- みはりモードは熱中症やその他の病気を防ぐための機能ではありません。
- 室内ユニットの設置場所やご使用環境によっては、温度を正確に検知できず、みはりモードによる冷房運転をしない場合がありますので、この機能は補助的にご使用ください。
- 以下の場合には、みはりモードによる運転を行いません。
 - ー停電しているとき
 - ーブレーカーが切れているとき
 - ーエアコンが故障しているとき冷房を使用するシーズンの初めには、エアコンに異常がないか(正常に運転するか)点検を行った上で、みはりモードを「入」にすることをおすすめします。
- 長時間外出するときは、みはりモードを「切」にしてください。

関連ページ

- [メニューを設定する P38](#)

切タイマーモードを設定する

切タイマーには 24 時間切タイマー、おやすみタイマー、快適おやすみタイマーのモードがあり、メニュー設定で選ぶことができます。

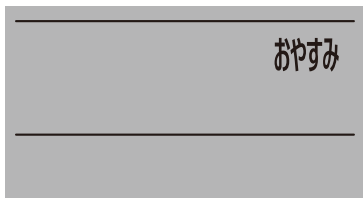
切タイマーを設定することで(→[切タイマーを設定する P30](#))、選んだモードの切タイマー運転が開始します。(メニュー設定では、切タイマー運転は開始しません。)

切タイマーモードの設定を行う

メニュー → ▲ / ▼ → 決定

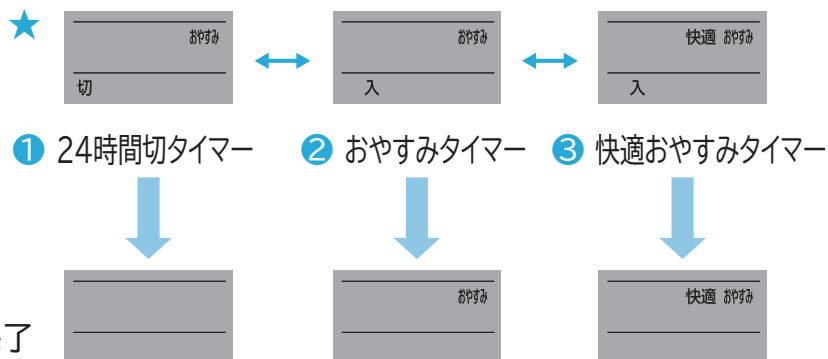
▲ / ▼ を押すことでメニュー設定項目が切り換わります。

1 下のリモコン表示で 決定 を押してください。



設定内容を選択する (★はお買い上げ時の設定)

▲ / ▼ → 決定



① 24 時間切タイマー(「切」「おやすみ」が表示されているとき)

切タイマー設定を行うことで、設定時間が経過後、運転が停止します。

② おやすみタイマー(「入」「おやすみ」が表示されているとき)

切タイマー設定を行うことで、設定した時間まで自動で温度調節を行い、冷やしすぎを防ぎます。(冷房運転中のみ)

おやすみタイマー時間の設定範囲は 4～10 時間です。

風量は自動になり、2 時間後まで 1 時間ごとに 1℃設定温度を上げて運転します。(最高 30℃まで)

2 時間後以降は、設定温度が 2℃高いまま、切タイマー設定時間まで運転します。

例)設定温度 24℃、切タイマー 10 時間設定のとき



例)設定温度 29℃、切タイマー 10 時間設定のとき



③ 快適おやすみタイマー(「おやすみ」「快適」「入」が表示されているとき)

切タイマー設定を行い、リモコンを身近に置くことで、より体感温度に近い温度調節を行い、睡眠時間に合わせて心地よい睡眠を促す運転をします(冷房運転中のみ)。

快適おやすみタイマー時間の設定範囲は 4～10 時間です。

リモコンの準備

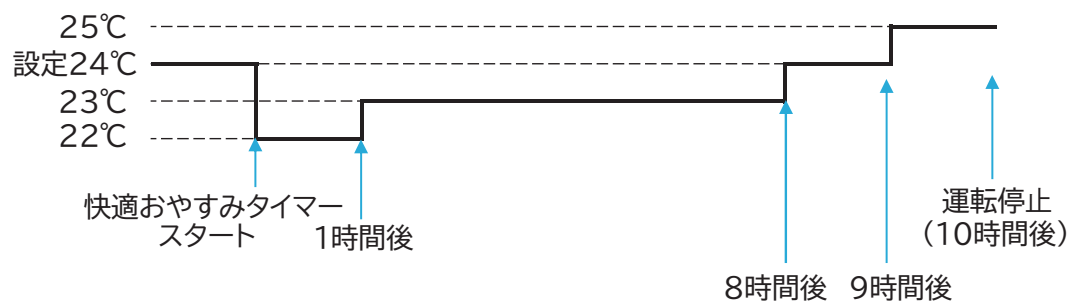
- ・ 快適おやすみタイマーを設定した場合は、リモコン送信部を室内ユニットの方に向けておいてください。

風量は自動になり、設定温度より 2℃低い温度で運転を開始します(最低 16℃、最高 30℃まで)。

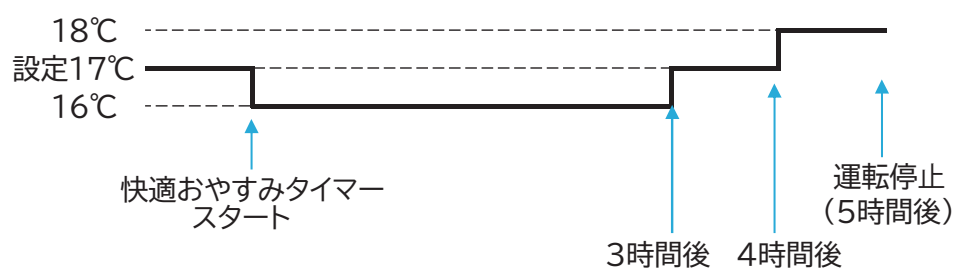
切タイマー設定時間までは、以下のように設定温度が推移します。

経過時間	温度推移
切タイマースタート～1 時間後	設定温度 - 2℃(最低 16℃まで)
1 時間後～運転停止 2 時間前	設定温度 - 1℃
運転停止 2 時間前～運転停止 1 時間前	設定温度
運転停止 1 時間前～運転停止	設定温度 + 1℃(最大 30℃まで)

例)設定温度 24℃、切タイマー 10 時間設定のとき



例)設定温度 17℃、切タイマー 5 時間設定のとき



関連ページ

- [メニューを設定する P38](#)

各モードの設定状態を確認する

室内ユニットに記憶されている各メニュー設定の状態を確認することができます。

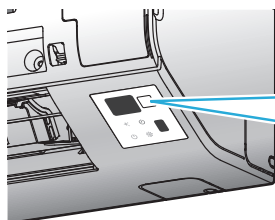
各モードの設定状態を確認する

メニュー → ▲ / ▼ → 決定

▲ / ▼ を押すことでメニュー設定項目が切り換わります。

下のリモコン表示で 決定 を押してください。

1



室内ユニット表示パネルに設定状態が表示される

下表の順番で、各モードの設定状態が 2 秒ごとに表示されます。



2

	入	切	
① 内部清浄モード設定	11	12	
② エコモード+設定	21	22	
③ 快適モード設定	31	32	
④ おやすみタイマー設定	切	おやすみ タイマー	快適おやすみ タイマー
⑤ みはりモード設定	41	42	43
	切	入	
	51	52	

途中で止めたいとき

- ・  を押す。

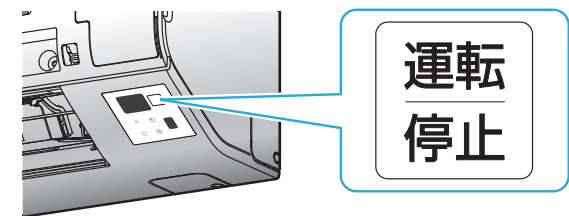
関連ページ

- ・ [メニューを設定する P38](#)

室内ユニット本体から運転操作を行う

運転停止中に室内ユニットの運転/停止ボタンを押すことで自動モード運転ができます。

リモコンが使えない時などにご使用ください。



※運転中にもう一度ボタンを押すと停止します。

ポイント

- 温度設定、風量、風向は以下で動作します。

温度設定	風量	風向	
		上下	左右
自動	自動	スイング 	手動

- あらかじめ設定されていた以下の機能は無効になります。有効にする場合は運転停止させた後、改めてリモコンでの運転操作が必要になります。

無効となる機能風量	参照
切タイマー	切タイマーを設定する P30 切タイマーモードを設定する P47
入タイマー	入タイマーを設定する P32
自動内部清浄モード	自動内部清浄モードを設定する P39
みはりモード	みはりモードを設定する P44
おやすみタイマー	切タイマーを設定する P30 切タイマーモードを設定する P47
快適おやすみタイマー	切タイマーを設定する P30 切タイマーモードを設定する P47
快適モード	快適モードを設定する P36
エコモード+	エコモード+を設定する P37

関連ページ

- [各部のなまえ\(表示パネル\) P22](#)

同じ部屋にエアコンを 2 台設置した場合

同じ部屋にエアコンを 2 台設置したときに、それぞれのリモコンで操作できるエアコンを指定(ペアリング)する機能です。

1

リモコンアドレスの設定を行う

運転停止中に  を長押し(5 秒)

2

設定内容を選択する
(★はお買い上げ時の設定)



設定完了



ポイント

- 設定を変更しないエアコンの電源プラグは抜いておいてください。
(リモコンの設定を受信し、ペアリングされてしまうため)

関連ページ

- [リモコンの確認と乾電池交換方法 P15](#)

お手入れ

お手入れ時の注意

使用後は機能低下や故障を防ぐために定期的にお手入れしてください。

お手入れについては、「[+ 1DAY【生活のヒントが見つかるライフスタイルマガジン】](#)」でもご確認いただけます。

❗ お願い

- ・ 内部の洗浄は自分で行わないでください。
誤った方法で内部の洗浄を行うと、破損して火災や感電の原因になります。エアコン内部の洗浄は専門の業者に依頼してください。
- ・ お手入れのときは、不安定な台に乗らないでください。
- ・ エアフィルター・前面パネルを水洗いしたときは、十分に乾かしてから取り付けてください。
- ・ 室内ユニット内部の金属部に触らないでください。
- ・ シンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性・酸性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。

関連ページ

- ・ [エアフィルター -2 週に 1 回程度- P55](#)
- ・ [室内ユニット表面 -汚れたら- P56](#)
- ・ [前面パネル -汚れたら- P57](#)
- ・ [長期間使用しないときは P58](#)

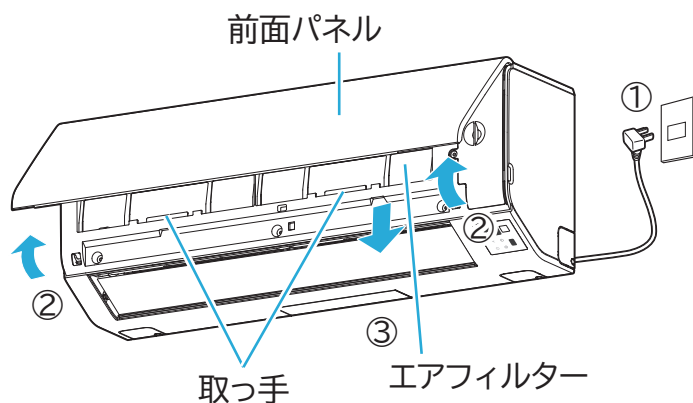
エアフィルター -2 週に 1 回程度-

エアフィルターは取り外してお手入れしてください。

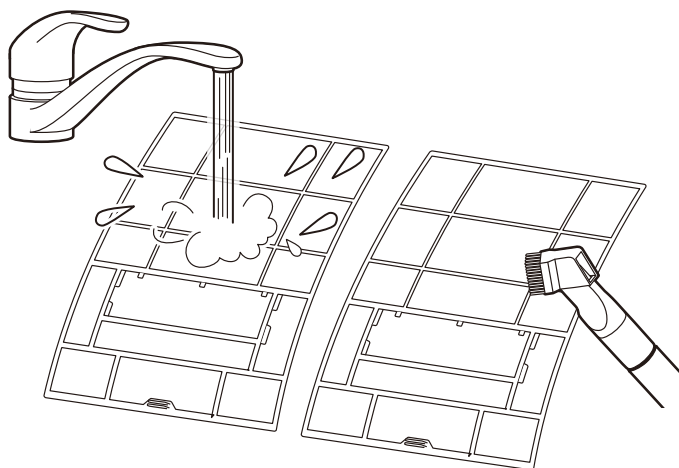
エアフィルターを取り外さずにお手入れした場合、天井面の汚れや詰まりが解消されず、故障につながる可能性があります。

前面パネルを開け、エアフィルターを外す

- ①運転を停止し、電源プラグを抜いてください。
- ②前面パネルの左右側面を持ち、手前に引き上げてください。
- ③エアフィルターの取っ手を少し持ち上げて、引き抜いてください。



ほこりを掃除機などで吸い取るか、水洗いする



※ 水洗いした後は、よく乾かしてから取り付けてください。

—取り付けかた

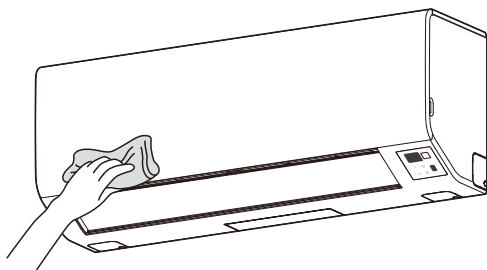
取り外しの逆の手順で行ってください。

前面パネルを閉じた後、前面パネルの右端・左端・中央が浮いてこないことを確認してください。

室内ユニット表面 -汚れたら-

水またはぬるま湯(40℃以下)を含ませたやわらかい布をよく絞って、汚れを拭き取る

※ 汚れが落ちにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いた後、かたく絞った布などで洗剤分を拭き取ってください。



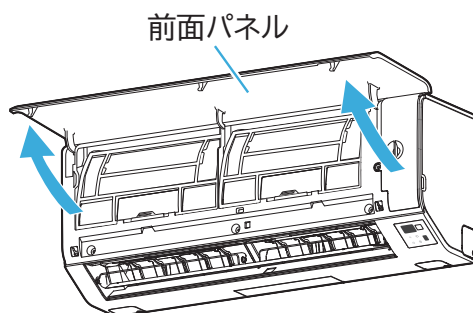
！お願い

- 水をかけないでください。
感電・けが・故障の原因になります。
- 化学ぞうきんを使用する際は、その注意書きにしたがってください。

前面パネル -汚れたら-

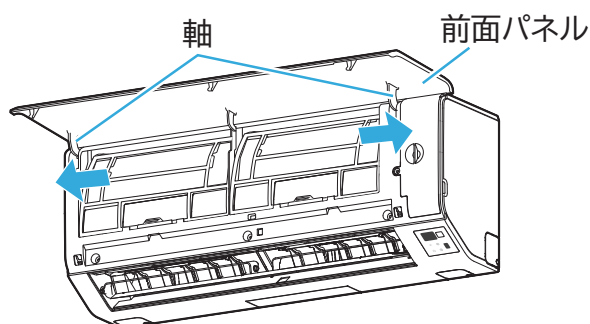
前面パネルを開ける

1



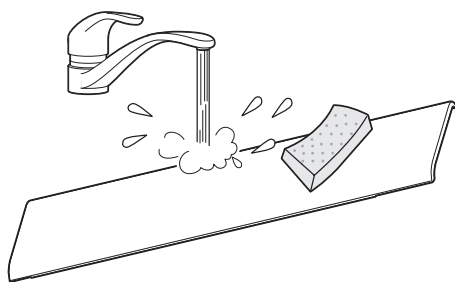
左右の軸を外側に押し外し、前面パネルを手前に引き抜く

2



取り外した前面パネルをやわらかいスポンジなどで水洗いする

3



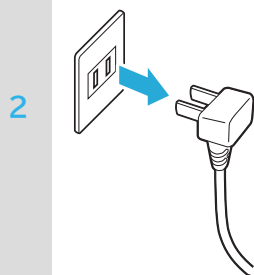
—取り付けかた

- ・ 取り外しの逆の手順で行ってください。
前面パネルを閉じた後、前面パネルの右端・左端・中央が浮いていないことを確認してください。

長期間使用しないときは

- 1 内部清浄運転を行う
メニュー設定より、手動内部清浄運転を行ってください。(→[手動で内部清浄運転を開始する P42](#))

運転を停止し、電源プラグを抜く



- 3 エアフィルターのお手入れをする
・ [エアフィルター P55](#) を参照してお手入れしてください。
- 4 リモコンの乾電池を抜く(→[乾電池の交換方法 P18](#))

再び使い始めるときは

- 1 エアフィルターが取り付けられていることを確認する
- 2 室内ユニット・室外ユニットの周囲がふさがれていないか確認する
- 3 リモコンに乾電池を入れる(→[乾電池の交換方法 P18](#))
- 4 電源プラグをコンセントに接続する

こんなときは 故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みの上、以下の点を確認してください。

運
転
し
な
い
・
止
ま
る

— 電源が入らない

→電源プラグをコンセントに確実に差し込んでいますか？

電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。

→ブレーカーが切れていませんか？

エアコンの回路のブレーカーを入にしてください。

→リモコンアドレスの設定は一致していますか？

リモコンアドレス設定が一致していない可能性がある場合は再度設定してください。(→[同じ部屋にエアコンを 2 台設置した場合 P53](#))

— 上下フラップが全閉しない

→手で上下フラップを動かすと、停止したときに、上下フラップが全閉しないことがあります

電源プラグを抜き、1 分ほど放置した後、もう一度差すと全閉します。

— リモコンで操作できない

→受信部の正面から操作していますか？

約 7m 以内の距離で、リモコンの送信部を、室内ユニットの受信部に向けて、できるだけ受信部の正面から操作してください。

→リモコンの乾電池が消耗していませんか？

リモコンの乾電池を交換してください。(→[乾電池の交換方法 P18](#))

→乾電池の向きが合っていますか？

乾電池を正しい向きにセットしてください。(→[乾電池の交換方法 P18](#))

→リモコンの送信部と室内ユニットの受信部の間に障害物はありませんか？

障害物を取り除いてください。

→アドレスが異なるリモコンで操作していませんか？

リモコンアドレスの設定を行ってください。(→[同じ部屋にエアコンを 2 台設置した場合 P53](#))

— 風量を変更できない

→除湿モードではありませんか？除湿モード中は風量自動となり変更ができません

異常ではありません。

— 風量が弱い

→運転モードが冷房・除湿・自動の場合、風量自動で運転中は、部屋の温度が設定温度に近づくと風量は弱まります

→エアフィルターにほこりなどが詰まっていますか？

エアフィルターをお手入れしてください。(→[エアフィルター -2 週に 1 回程度- P55](#))

— 部屋が冷えない

→お部屋の条件、在室人数、屋外の温度・湿度によっては、設定温度に到達しない場合があります。

→窓やドアが開けっ放しになっていませんか？

窓やドアを閉めて使用してください。

—室内ユニットから霧が出る、室内ユニットに水滴が付く

→湿度の高い空気が急に冷やされると、霧が出たり、水滴が付いたりすることがあります

故障ではありません。雨の日など、湿度が高いときに冷房する場合は、窓やドアを開けっ放しにしないでください。

→エアフィルターが汚れていませんか？

室内ユニット内部の結露が多くなり水滴が発生しやすくなりますので、エアフィルターのお手入れをしてください(→[エアフィルター -2 週に 1 回程度- P55](#))

-「ポコポコ」という音がする

→ドレンホースの水が逆流しているためです

部屋の内外の気圧差が大きいと、水が逆流することがあります。窓を少し開けて気圧差を減らすか、ドレンホースに逆流防止弁を取り付けると改善することがあります。

-「ブシュッ」という音がする

→運転の停止や切り替え時に、冷媒の流れが切り替わるためです

故障ではありません。

-「ピシッ」「パキッ」という音がする

→温度変化で樹脂部分が伸び縮みしているためです

故障ではありません。

-風がおう

→定期的に手動内部清浄運転を動作させてください

(→[手動で内部清浄運転を開始する P42](#))

→エアフィルターが汚れていませんか？

エアフィルターのお手入れをしてください(→[エアフィルター -2 週に 1 回程度- P55](#))

→内部清浄運転やフィルターのお手入れをしてもにおいなどが取りきれない場合は、業者に洗浄を依頼してください

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店にご相談ください。

もしご購入店に依頼できない場合(引っ越しや贈り物など)は、[アイリスコール P71](#)(☎ [電話をかける](#))へお問い合わせください。

❗ お願い

ご自分で分解・修理・改造をしないでください。

関連ページ

- [表示パネルに英数字のコードが表示されたら P65](#)
- [お問い合わせ P71](#)

長年ご使用のルームエアコンの点検を！



愛情点検

こんな症状はありませんか

- ・ 電源プラグや電源コードが異常に熱くなったり、変色したり、こげくさいにおいがする
- ・ ブレーカーが頻繁に落ちる
- ・ 架台(置き台)やつり下げなどの取付部品が腐食していたり、ゆるんだりしている
- ・ 室内ユニットから水もれする
- ・ 電源コードに破損が見られる
- ・ 運転音が異常に大きい
- ・ ボタンの操作が不確実
- ・ その他の異常や故障がある



ご使用中止

故障や事故防止のため、すぐに運転を停止し、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店または[アイリスコール P71](#)(☎ [電話をかける](#)) に点検修理をご相談ください。

表示パネルに英数字のコードが表示されたら

英数字コード	イー・ゼロ E0 イー・イチ E1 イー・サン E3 エイチ・ニ H2 エイチ・サン H3 エイチ・ヨン H4 エイチ・ゴ H5 ピー・ナナ P7
原因・処置	エアコンに過度の負担がかからないように制御しているときの表示で、故障ではありません。

英数字コード	エフ・オー Fo
原因・処置	強制冷房運転をしているときの表示です。エアコンを取り外すときに行う、ポンプダウン(冷媒回収)作業に強制冷房運転を使用します。故障ではありません。 約 25 分経過すると運転は冷房を継続しますが、コードの表示は消えます。 運転は室内ユニット本体の「運転／停止」ボタンを再度押す、もしくは運転開始から約 30 分経過すると停止します。

英数字コード	その他の英数字コード
原因・処置	表示パネルに表示されている英数字コードをメモしていただき、 アイリスコール P71 (☎ 電話をかける)にお問い合わせください。

関連ページ

- ・ [故障かな？と思ったら P59](#)
- ・ [お問い合わせ P71](#)

アフターサービスとその他の内容

長期使用製品について

経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の内容を、製品本体に表示しています。

【製造年】 本体ラベルに記載

	※【設計上の標準使用期間】 10 年 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。
---	--

※設計上の標準使用期間について

JIS 基準に基づく標準的な使用条件下で使用した場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間を、製品本体に表示してあります。無料修理を行う保証期間とは異なります。

(JIS C 9921-3)

環境条件	電源電圧	単相 100V
	周波数	50/60Hz
	温度(室内)	27℃(乾球温度)
	湿度(室内)	47%(湿球温度:19℃)
	温度(室外)	35℃(乾球温度)
	湿度(室外)	40%(湿球温度:24℃)
	設置条件	据付工事説明書による標準的な設置
負荷条件	住宅	木造平屋、南向き和室、居間
	部屋の広さ	製品能力に見合った広さの部屋
想定時間	1 年間の使用日数 (東京モデル)	6 月 2 日から 9 月 21 日までの 112 日間
	1 日の使用時間	9 時間/日
	1 年間の使用時間	1,008 時間

設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

仕様

型番	室内ユニット		IHF-2202SC
	室外ユニット		IHR-2202SC
電源			単相 100V、50/60Hz
電源プラグ形状			㊦
冷房	定格能力		2.2kW (0.2～2.4kW)
	定格消費電力		675W (150～850W)
	定格運転電流		7.9A
	運転音 (音響パワーレベル)	室内ユニット	55dB
		室外ユニット	59dB
	面積の目安	鉄筋アパート 南向き洋室	15 m ² (9 畳)
木造南向き和室		10 m ² (6 畳)	
期間消費電力			315kWh
外形寸法	室内ユニット		幅 798×奥行 212×高さ 294 mm
	室外ユニット※1		幅 672(+67)×奥行 273(+45)×高さ 431 mm
質量	室内ユニット		9.5kg
	室外ユニット		17.5kg
待機電力			1W

・J-Moss(JIS C 0950:2021)の規定に基づき、対象となる 6 物質(鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB・PBDE)の含有について情報を公開しています。詳しくはホームページをご覧ください。

https://www.irisohyama.co.jp/company/socialactivity/j_moss/

※1 端子板カバーを含んだ寸法です。

・商品の仕様は予告なく変更することがあります。

廃棄について

製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

— 廃棄に関する注意

- ・ 家電リサイクル法では、お客様が使用済みのルームエアコンを廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金をお支払いいただき、対象商品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

保証とアフターサービス

—保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

—保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

ただし、一般家庭以外でのご使用など、保証期間内でも無償保証の対象外になる場合があります。詳しくは[保証規定 P70](#)を参照ください。

—保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または[アイリスコール P71](#)(☎ [電話をかける](#))にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

—補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、9年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

—アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店または[アイリスコール P71](#)(☎ [電話をかける](#))にお問い合わせください。

—フロンについて



この家庭用エアコンには、GWP(地球温暖化係数)が675のフロン類(R32)が封入されています。フロン類が排出されると地球温暖化が進みます。
移設・修理・廃棄するときは、フロン類の回収が必要です。

保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
2. 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にご依頼の上、出張修理の際に保証書を提示してください。
なお、離島及び離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
3. 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
4. ご転居や贈答品などで保証書に記入してある販売店に交換をご依頼になれない場合には、[アイリスコール P71](#)（☎ [電話をかける](#)）にお問い合わせください。
5. 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害、塩害、有毒ガス（硫化ガスなど）や薬品による被害、異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）などによる故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 保証書の提示がない場合
 - ⑦ 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
7. 保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

お問い合わせ

使いかた・お手入れ・修理について

●まず、お買い上げの販売店にご相談ください。もし購入店に依頼できない場合(引っ越しや贈り物など)は、以下の窓口にお問い合わせください。

アイリスコール:[0800-919-0770](tel:0800-919-0770)(通話料無料)

平日・土日祝日 9:00～17:00 (年末年始・夏季休業期間・会社都合による休日を除く)

- ・ お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。

お客様サポート



<https://www.irisohyama.co.jp/support/>

ホームページはこちら

<https://www.irisohyama.co.jp/>

ルームエアコン据付工事説明書

室内ユニット	IHF-2202SC
室外ユニット	IHR-2202SC

安全上の注意

この「安全上の注意」をよく読んでから据え付けしてください。
据付工事説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

- 据付工事は、この据付工事説明書に従って行う
据え付けに不備があると、火災・破裂・感電・けが・水もれの原因になります。
- 据付工事・移設・廃棄は、お買い上げの販売店または据付専門業者に依頼する
自分で据え付けすると、火災・破裂・感電・けが・水もれの原因になります。
- 据付工事は、冷媒R32用またはR410A用に製造された専用のツール・配管部材を使用し、この据付工事説明書に従って確実に行う
専用の配管部材を使用しなかったり、据え付けに不備があると、火災・破裂・感電・けが・水もれの原因になります。
- 据え付けは、強度を確認し、重量に十分耐える場所に確実に行う
耐荷重不足や取り付けが不完全なときは、機器の落下により、けがの原因になります。
- 室外ユニットは、ベランダの手すりの近くに据え付けしない
子どもが上に登り、手すりを乗り越えて、落下事故につながります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」、および据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する
また、電圧は製品の定格電圧に合わせる
電源回路容量不足や施工不備があると、火災・感電の原因になります。
- 室内外ユニット間の配線は、途中接続やより線の使用はせず、所定のケーブルを使用して確実にを行う
配線が不完全なときは、発熱・火災・感電の原因になります。
- 室内外ユニット間の配線は、端子カバーを確実に取り付けて配線を固定し、端子接続部に外力が伝わらないようにする
カバーの取り付けが不完全なときは、端子部の発熱・感電・火災の原因になります。
- 据付工事部品は、必ず付属部品または指定の部品を使用する
使用しないと、機器の落下・水もれ・火災・感電の原因になります。
- エアコンの据え付けや移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒(R32)以外の空気などを混入させない
空気などが混入すると冷凍サイクル内が異常高圧となり、破裂によるけがなどの原因になります。
- 据付工事完了後、冷媒ガスがもれていないことを確認する
冷媒ガスが室内にもれ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
- 作業中に冷媒ガスがもれたときは換気をする
冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。
- アース工事を行う
アース線はガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全なときは、感電の原因になります。
- 浴室など、水がかかったり、湿気が多い場所には据え付けしない
感電・火災の原因になります。

- 電源プラグを差し込むときは、電源プラグ側だけでなく、コンセント側にもほこりの付着・詰まり・がたつきがないことを確認し、刃の根元まで確実に差し込む
ほこりの付着・詰まり・がたつきがあると、火災・感電の原因になります。コンセントにがたつきがある場合は、交換してください。
- 据付作業では運転する前に、次のことを確認する
 - ・配管接続は確実に取り付け、もれないこと
 - ・2方弁・3方弁両方とも開いていること2方弁・3方弁が閉まった状態で圧縮機を運転すると、異常高圧となり圧縮機などの部品の破損の原因になります。また、接続部でまれがあると、空気を吸い込むなどして、さらに異常高圧となり、破裂・けがの原因になります。
- ポンプダウン作業では、次のことを確実に行う
 - ・冷凍サイクル内に空気を混入させない
 - ・2方弁・3方弁両方とも閉じたあと、圧縮機を停止させ冷媒配管を外す圧縮機を運転したまま2方弁・3方弁が開放状態で冷媒配管を外すと、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になって、破裂・けがなどの原因になります。
- 電源コードは、極端に折り曲げたり、束ねたりしない
また、加工・途中接続・タコ足配線はしない
接触不良・絶縁不良・許容電流オーバーなどにより、火災・感電の原因になります。
- 指定冷媒以外は使用（冷媒補充・入れ替え）しない
指定以外の冷媒を使用すると、機器の故障・破裂・けがなどの原因になります。
- 室内ユニットを持つときは、前面パネルに手を掛けけない
作業中に前面パネルが開き、機器の落下によりけがの原因になります。
- 据付場所によっては漏電しゃ断器の取り付けが必要
漏電しゃ断器が取り付けられていないと、感電の原因になることがあります。
- 配線用しゃ断器（ブレーカー）を取り付ける
配線用しゃ断器が取り付けられていないと、感電や火災の原因になることがあります。
- 製造者が推奨する以外の方法で霜取りや清掃を行わないでください
修理が必要な場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- 専門業者以外による修理は危険を生じるおそれがあります
- 本製品は、火気（裸火、稼働中の燃焼器具、電気ヒーターなど）が常時使用されていない場所に保管してください
- 本製品は、穴を開けたり燃やしたりしないでください
- 本製品には可燃性ガスR32が充てんされています。
修理の際は、必ず製造者の指示に従ってください
- 冷媒にはにおいがありませんので
ご注意ください
- 取扱説明書を必ずお読みください



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損害が発生する内容を示しています。

- ドレン工事は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう配管する
屋内に浸水し、家財等をぬらす原因になることがあります。
- フレアナットは、トルクレンチを使用し、指定の方法で締め付ける
フレアナットを締め付け過ぎると、長期間経過後フレアナットが割れ、冷媒もれの原因になります。
- 据付作業では手袋*を着用する
着用しないと、部品などでけがをすることがあります。（*軍手などの厚手の手袋）
- 室外ユニットの吸込口やアルミフィンに触らない
けがの原因になります。

- 新築物件・リフォームなどの内装工事や、床面のワックスがけ時には、エアコンを運転しない
ワックスなどの揮発成分がエアコン内部に付着し、水もれや水飛びの原因になります。作業終了後は、エアコンを運転する前に十分に換気を行ってください。
- 室外ユニットは、小動物のすみかになるような場所には据え付けしない
小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、火災・故障の原因になることがあります。また、お客様には、周辺をきれいに保つことを依頼してください。



この家庭用エアコンには、GWP（地球温暖化係数）が675のフロン類（R32）が封入されています。フロン類が排出されると地球温暖化が進みます。移設・修理・廃棄するときは、フロン類の回収が必要です。

廃棄に関する注意

家電リサイクル法では、お客様が使用済みのルームエアコンを廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金をお支払いいただき、対象商品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

- このエアコンは、冷媒R32を使用しています。
据え付けにはR32もしくはR410A対応の工具を使用してください。

冷媒配管について

配管キットを使用するとき

- ・必ず、配管肉厚が0.8mmのものを使用してください。

一般の銅管を使用するとき

- ・銅管はJIS H3300「銅および銅合金継目無管」のC1220Tタイプで、内部の付着油量40mg／10m以下、配管肉厚は0.8mmのものを使用してください。
- ・アルミ材を使用した冷媒配管は使用しないでください。

フレアナットおよびフレア加工

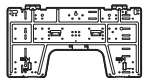
- ・フレアナットは室外ユニットに付属のものに交換してください。
室内ユニットの配管にはフレアナットは付属されていないので、同梱付属品のものを使用してください。

据付工事完了後、「12 試運転」と「13 点検」の確認を行い、本説明書をお客様にお渡しください。
また、本説明書は、かんたん操作ガイドとともに保管していただくように、お客様に依頼してください。

同梱付属部品

室内ユニット用（室内ユニットに同梱）

① 据付板



1枚

② 据付板取付ねじ
(長さ25mm)



5本

③ リモコン



1個

④ 乾電池
(単4形)



2本

⑤ フレアナット
φ6.35mm (1/4")



1個

⑥ フレアナット
φ9.52mm (3/8")



1個

付属品	個数
据付工事説明書	1
かんたん操作ガイド	1
保証書	1

室外ユニット用（室外ユニットに同梱）

⑦ ドレン口

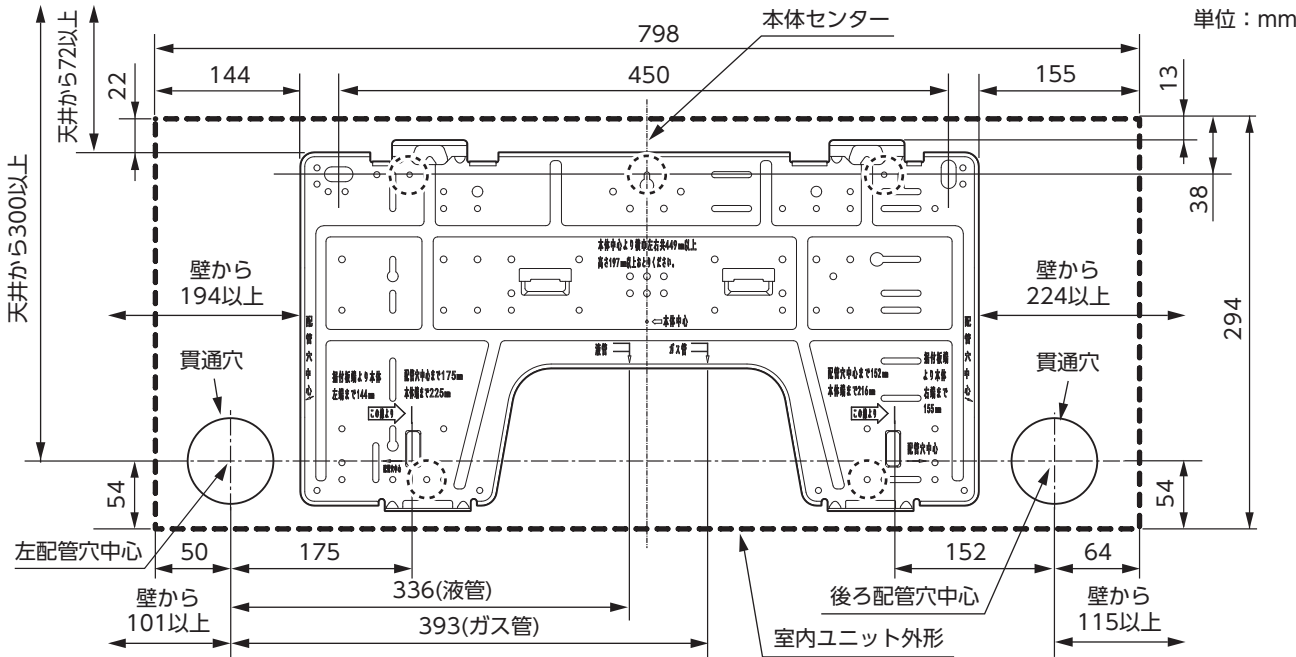


1個

現地で準備していただくもの

- ☐ 内外接続電線
- ☐ 冷媒配管
- ☐ 配管テープ、ビニールテープ
- ☐ 配管穴用パイプ
- ☐ 配管工事部材
- ☐ 配管固定用バンド、ねじ
- ☐ ドレンホース（室内/室外ユニット用）
- ☐ パテまたはコーキング材
- ☐ アース棒、アース線、アース端子
- ☐ 漏電しゃ断器
- ☐ 配線用しゃ断器（ブレーカー）

穴あけ寸法図



据付場所の選定

据付場所の選定

室内ユニット

- 据付板の周囲に「穴あけ寸法図」に示した間隔を取れる場所
- 吸込口、吹出口の近くに障害物のない場所
- 重量に耐える場所
- 直射日光が当たらない場所
- 冷風が部屋全体に行きわたる場所
- 高周波機器、無線機器等の影響を受けない所
- テレビやステレオなどの機器から1m以上離す（映像の乱れや雑音が入ることがあります。）
- カーテンボックス、カーテンレールから離す
- エアコン（吹出口）と火災警報器は、1.5m以上離す
- 浴室など、水がかかったり、湿気が多かったりする場所は避ける
- 室内ユニットの下面から床まで1.8m以上離す

室外ユニット

- 室外ユニットの周囲に、右図で示した間隔を取れる場所
- 強風が当たらない場所（とくにビルの屋上では、風が強く室外ファンが破損することがあります。）
- 風通しがよく、吸込口・吹出口の近くに障害物のない場所
- ユニットの重量に十分耐える場所で水平位置を保てる場所
- 運転音や振動が増大しない場所
- 可燃性ガスのもれるおそれのない場所（プロパンガス容器からは2m以上離す）
- 消防法および都道府県の条例などを満足している
- 排水されたドレン水が流れても問題ない場所
- 接続配管の長さ、室内外ユニットの許容落差は次の通りとすること

型番	接続配管長さ	落差
IHF-2202SC	15m（ただし10m以上は冷媒補充が必要）	10m

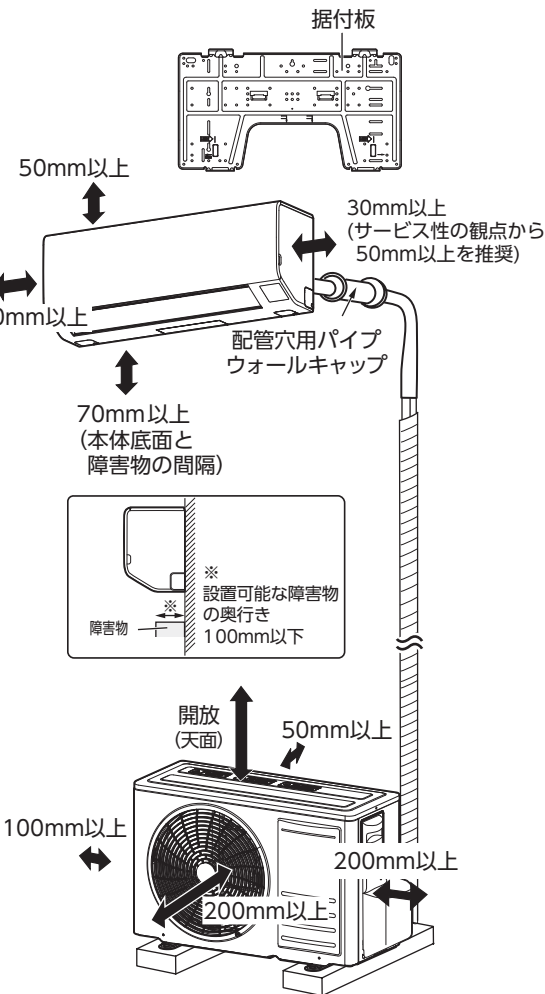
- ※冷媒は、延長1m当たり20g補充してください。
- 雨や直射日光が当たる場所への据え付けには、市販の「日除け屋根」をご利用ください。

以下のような所は避けてください。

- 塩害地や、ビル上層部など、常時強風が当たる所
- 油・蒸気・油煙・腐食性ガスの発生する所
- 温泉地のように硫化ガスの発生する所

お願い

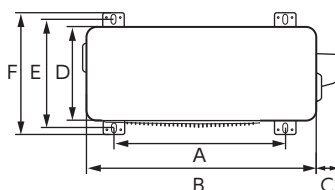
公団アパートやマンションなどの鉄筋コンクリート造建築物で、室外ユニットを、ベランダ・天井から吊り下げて据え付けするときは、室外ユニットと天井のすき間を80mm以上空けてください。また、室外ユニットと据付具の間に防振ゴムを入れてください。



室外ユニットの設置スペースは以下の条件をお守りください。

- 少なくとも2方向は付近に障害物がないよう開放すること
- 開放していない方向は、上図寸法以上の間隔を取ること
- 天面は原則として開放すること

室外ユニット固定用穴位置



単位：mm

A	B	C	D	E	F
440	663	65	257	286	318

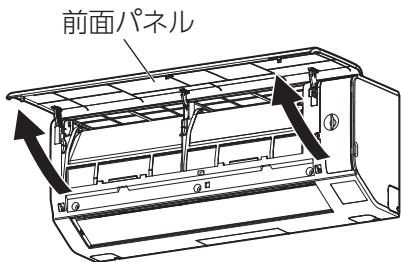
固定ボルトはM8を使用してください。

- 据付場所に余裕があれば、効率の良い運転のためにできるだけ広く取ってください。
- 市販の配管カバーを取り付ける際は、管を押さえつけないようにご注意ください。（水もれ等の原因）

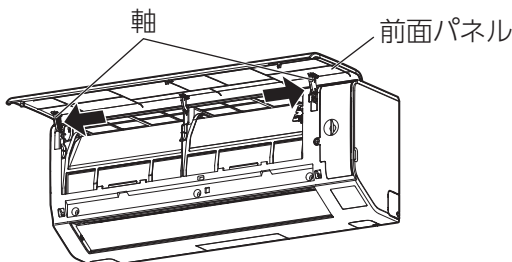
前面パネルの取り外しかた

- ※通常、前面パネルを取り外す必要はありません。取り外す必要があるときは、以下の手順で行ってください。
- ※前面パネルを取り外すときは、運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。

①前面パネルを開ける



②左右の軸を外側に押して外し、前面パネルを手前に引き抜く



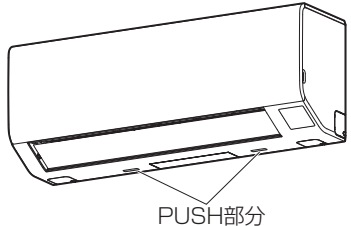
取り付けかた

- 取り外しの逆の手順で行ってください。

据付後の取り外しかた

室内ユニット

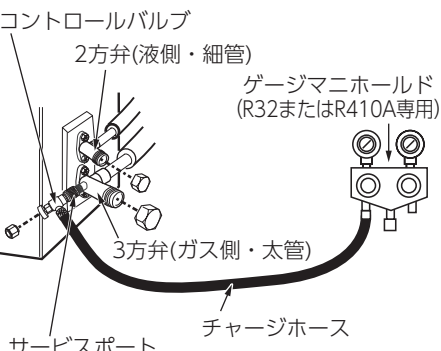
- 本体底面のPUSH部分(左右2か所)を押し上げ、つめを浮かせながら本体を手前に引いてください。本体底面のつめが据付板から外れます。



室外ユニット

ポンプダウン（冷媒回収）のしかた

- ①3方弁のサービスポートにコントロールバルブを介してチャージホースと圧力計（ゲージマニホールド）を取り付ける
- ②本体の運転/停止ボタンを5秒以上押し続けると強制冷房運転を開始しますので、5～10分間程度運転を行います。（「Fo」と本体に表示されます）
強制冷房運転は約30分間で運転を停止します（「Fo」の表示は約25分間で消えます）。
- ③2方弁を全閉にする
- ④圧力計が、ほぼ0MPa（0kgf/cm²）になるのを確認後、3方弁を全閉にし、エアコンの運転を停止させる
長時間、運転し続けると故障の原因になります。
- ⑤圧力計（ゲージマニホールド）、接続配管を外す



ポンプダウン作業では、次のことに注意してください。

- 冷凍サイクル内に空気を混入させない
- 2方弁・3方弁を両方とも閉じたあと、圧縮機を停止させ冷媒配管を外す
破裂・けがなどの原因になります。
圧縮機を運転したまま2方弁・3方弁が開放状態で冷媒配管を外すと、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になるためです。

既設配管を再利用するときの注意

- 古いエアコンを取り外すときは、必ずポンプダウンを行い、冷媒・冷凍機油の回収を行ってください。
- 配管肉厚が0.8mmあること（JIS規格の配管）
- フレアはR32対応に切り直してください。
- ポンプダウンができないとき・配管内が極端に汚れているときは、洗浄するか新しい配管に交換してください。
- 施工には、R32対応の工具を使用してください。
- 一部の機種では、接続配管径の仕様が異なりますので、このときは、買い換え後のエアコンに合った新しい配管を使用してください。
- 配管に腐食・亀裂・傷・変形・劣化などがなければ、点検してください。
- 配管以外の部材（断熱材や配管支持部材など）も再使用可能か点検してください。
- 再使用不可能のときは、補修または新しい配管に交換してください。

1 据付板の取り付け・配管穴あけ

■ 据付板の取り付け

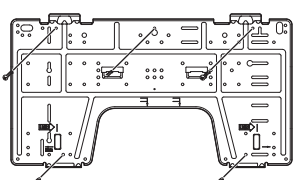
据付板は水準器をあてて、水平に取り付けてください。



壁に直接取り付ける場合

- 取付ねじを5本以上で固定してください。
(5本同梱しています。必要に応じて追加してください。)
- 「穴あけ寸法図」の○部(※)部にねじ止めすることをおすすめします。

据付板固定位置：5か所



- 板壁内の構造物(間柱、桟等)を利用して取り付けてください。間柱等をさがすのが困難な場合は、ボードアンカー(市販品)等をご使用ください。



- 壁が石膏ボードの場合、壁厚に応じた樹脂製のカサ式ボードアンカーをご使用ください。ねじ込み式は使用しないでください。(保持強度が極端に落ちる場合があります。)
- 取り付け後、手で引っ張って強度を確かめてください。
- 住宅公団等、埋め込みボルトがある場合は、公団用取付穴を利用して取り付けてください。
- 公団用取付穴を利用して固定する場合は、壁面からのボルト出寸法を11mm以下で仕上げてください。

回り縁と鴨居につける場合

据付桟(市販品)を使用してください。

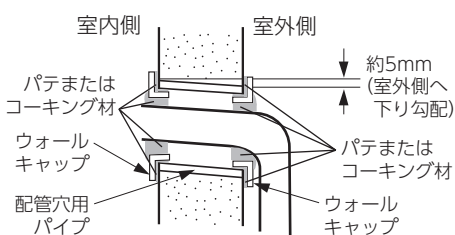
■ 配管穴あけ

- ① 壁に穴を室外側に下り勾配にあける(水もれ防止のため)

【貫通穴径】

φ6.4/φ9.5配管	φ65mm以上
-------------	---------

- ② 配管穴用パイプ、ウォールキャップを取り付ける



- 接続ケーブルや配管の保護のために、必ず使用してください。
 - メタルラス、ワイヤラス等、金属を使っている壁は、必ず使うように電気設備技術基準で定められています。
 - 室内機を取り付けた際に、壁穴用パイプやウォールキャップがはみ出す場合は、はみ出し部をカットしてください。
- ③ すき間をパテまたはコーキング材でシールする
 - 化粧カバー仕上げの場合も必要です。
 - シールが不完全な場合、雨水の浸入や空気の侵入による結露や室内温度の誤検知または、小動物の侵入を防ぐため、室内側と室外側の両方からすき間を埋めてください。

2 電気工事

- 電源はルームエアコン専用とし、エアコン専用コンセントを電源コードの届くところに据え付けしてください。
- コンセントは新しいものを使用してください。
- プラグの交換や延長などの電源コード改造や、延長コードの使用は絶対にしないでください。故障や火災の原因になります。
- 電源コードをビニールテープなどで巻いて収納しないでください。
- 電源電圧を必ず確認してください。

電源コードの長さ

電源方式・マーク	左出し	右出し
単相100V	0.6m	1.2m

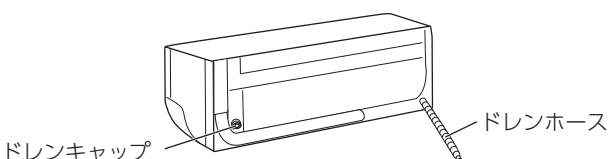
電源について

電源方式	コンセント定格・形状
単相100V	100V 15A

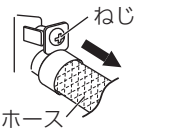
- 電源回路容量に十分余裕のあるように配線工事を行ってください。また、機種と据付場所によっては感電防止のため漏電しゃ断器の取り付けが法規上必要な場合があります。

3 ドレンホースの付け替え(左配管の場合)

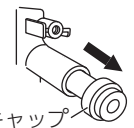
左配管の場合、本体パネルを外して、ドレンホースを付け替えてください。



- 1.ねじを外し、ドレンホースを引き抜く

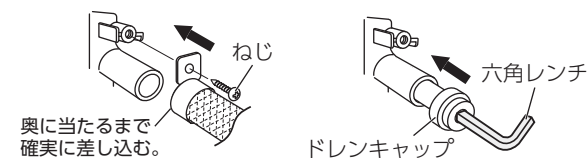


- 2.ドレンキャップを引き抜く



- 3.ドレンホースとドレンキャップを付け替える

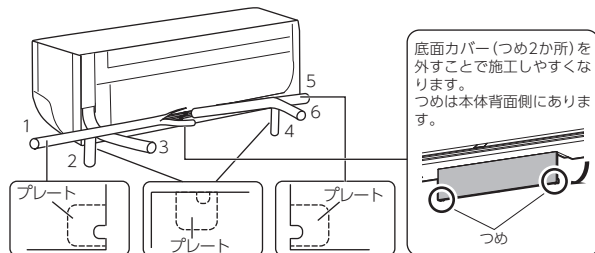
- ドレンホースは、確実に差し込み、ねじ止めします。
- ドレンキャップは、六角レンチ(4mmもしくは5mm)を使って、奥まで差し込んでください。



4 配管の引き出し・室内ユニットの取り付け

■ 配管の引き出し

- 1、2、4、5の方向のときは、プレートを取り取ってください。
- 切り取り時、本体内部の配線(電源コード)、ドレンホース、補助パイプを傷付けないように注意してください。また、切り取り後は、これらを傷付けないよう、鋭い切断面は処理してください。

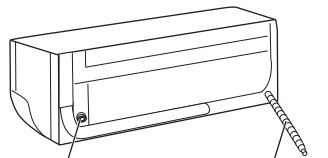


後・右・下配管の場合

- ① ドレンホース、補助パイプを配管穴に通す
- ドレンホースはトラップのないようにしてください。

左配管の場合

- ① ドレンホースとドレンキャップを付け替える
- 「3 ドレンホースの付け替え」参照



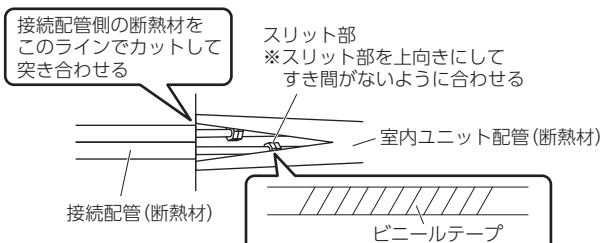
製品のドレンホースを必ず使用してください。

- ② 配管を接続する「8 配管接続」参照
- 接続後、石けん水で冷媒もれを確認してください。

4 配管の引き出し・室内ユニットの取り付け

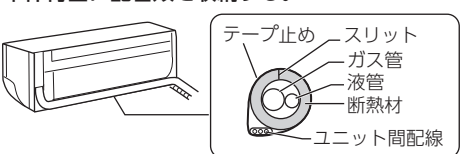
- ③ 配管とユニット間配線をテープで止める

断熱材のスリット部を上向きにして、すき間のないように密着させてビニールテープで巻いてください。配管の結露により、水もれの原因になります。



※スリット部を上向きにする

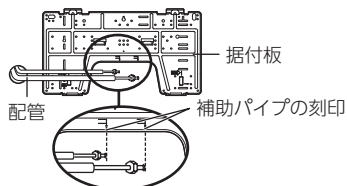
- ④ 本体背面に配管類を収納する。



- ⑤ ドレンホースと配管、ユニット間配線をまとめて配管穴に通す
- ドレンホースはトラップのないようにしてください。

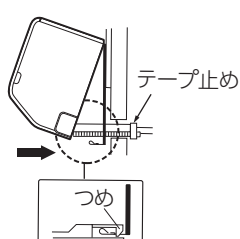
左配管時の配管の成形

据付板上の「補助パイプの刻印」にフレア先端部を合わせて成形します。



■ 取り付け

- ① 本体上部を据付板に引っ掛ける
- ② 本体下部を押し込んで固定する
- 固定後、本体下部を手前に引っ張り、確実に本体が固定されているか確認してください。



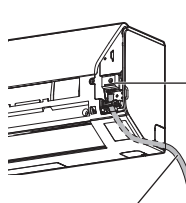
注意

電源コードが余った場合、エアコン背面のスペースのあるところにゆったりと収納してください。

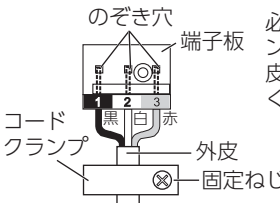
- 小さく折りたたんだり狭いところへ押し込まないでください。また、本体と据付板(とくに本体裏面のつめと据付板の受け部の間)にはさまないように注意してください。電源コードが破損し、発熱・火災の原因になります。
- 電源コードを室内ユニットの上面にのせないでください。

5 室内ユニットのユニット間配線

- ① 前面パネルを開け、端子板カバーを外す
- ② 固定ねじを取り外し、コードクランプを外す
- ③ ユニット間配線の接続をする
- ユニット間配線の心線を、端子板の奥まで確実に挿入してください。のぞき穴から心線が見えていること、また心線のむき代部が見えなくなるまで挿入されていることを確認してください。
- 端子番号に注意してください。誤配線すると内部の制御回路が破損します。
- ④ コードクランプと固定ねじでユニット間配線を固定する
- ⑤ 端子板カバーを取り付け、前面パネルを閉める



内外接続電源(VVF φ2.0mm または φ1.6mm(3心))



必ずコードクランプで配線の外皮部を押さえてください。



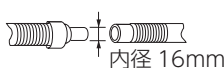
警告

- より線は使用しないでください。接触不良、通信不良の原因となります。
- VVFケーブルは中継器などを使って中継接続しないでください。接触不良を起こして、火災の危険があります。

6 室内ユニットのドレン工事

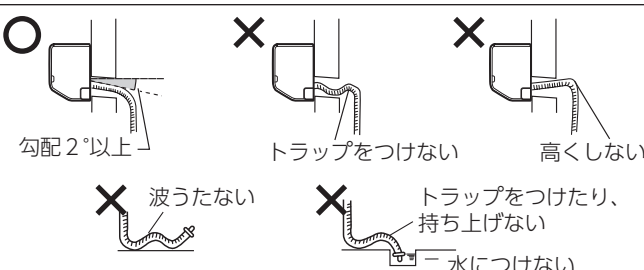
ドレン工事は、ドレン水が流れやすいように下り勾配をつけてください。(2°以上)

- ドレンホースを延長する場合は、内径16mmのホースを使用してください。



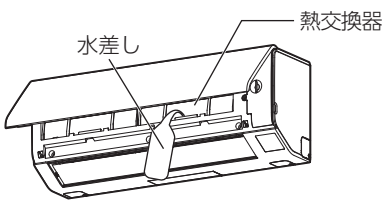
- ドレンホースが持ち上がったたり、トラップをつけたり、ホースの先が水につからないよう注意してください。水もれ、異音等の原因になります。
- 延長したドレンホースが室内を通るときは、断熱材を巻いてください。

ドレンホースにトラップがあると、高気密住宅などで強い風を受けたときや換気扇などを使用した場合、「ポコポコ」という音が出ることがあります。トラップの修正をしてください。修正が困難な場合は対応部品として、エアコン用逆流防止弁(市販品)を取り付けてください。



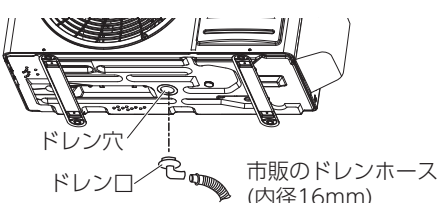
ドレン排水の確認

- ① 前面パネルを開け、エアフィルターを外す
- ② 水を熱交換器につたわせて、ゆっくり注入する
- ③ ドレンホースから水が流れていることを確認する



7 室外ユニットのドレン工事

室外ユニットのドレン穴から水が流れ出ます。排水処理をする場合はドレン工事を行ってください。

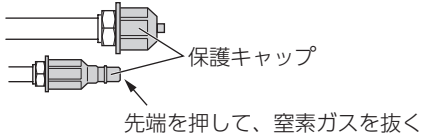


寒冷地でのお願い

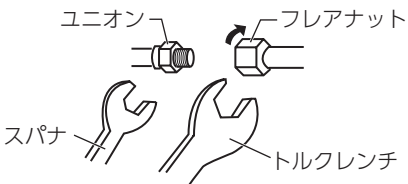
寒冷地ではドレン水が凍結するので、ドレン工事は行わないでください。寒冷地：日中でも外気温0℃以下の日が2～3日連続する地域

8 配管接続

- 配管内への異物（油分、水分等）混入に十分ご注意ください。
- 通常は室内ユニット側、室外ユニット側の順に配管接続してください。
- フレア面の内面のみ冷凍機油を塗布してください。
- 室内ユニットの配管にフレアナットは取り付けられていません。付属のフレアナットをお使いください。
- 室内ユニットに窒素ガスが封入されています。細管側の保護キャップ先端をドライバーで押し、窒素ガスを抜いてから、保護キャップを取り外してください。



- フレアナットを3～4回手で締め付ける
 - トルクレンチを使用し、指定の締付トルク値公差内でしっかりと締め付ける
- トルクレンチとスパナを用い、2丁スパナ方式で締め付けてください。（締め付け不足、および締め付けすぎは、冷媒もれや変形・破損の原因となります。）



フレアナット締付トルク

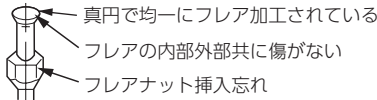
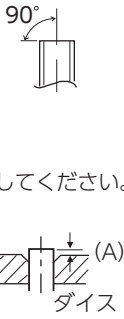
		2面幅		適合トルクレンチ
		ユニオン	ナット	
細管側	φ6.35mm (1/4")	14mm	17mm	16±2N・m
太管側	φ9.52mm (3/8")	17mm	22mm	38±4N・m

《既設配管再利用時のご注意》

- 配管肉厚は0.8mmが前提条件です。（JIS規格の配管）
- フレアはR32/R410A用に必ず再加工してください。（下記「配管のフレア加工について」参照）

配管のフレア加工について

- パイプカッターで配管を切断する
切断面は直角にしてください。
- バリ取りする
切粉を管内に入れないようにしてください。
- フレアナットを挿入する
フレアナットは必ずエアコン本体のものを使用してください。
- フレア加工する
ダイスからの出し代(A)を正しくセットしてください。
出し代(A)：0～0.5mm
(R32またはR410A用フレア工具の場合)
- 確認する



フレア加工は、正しく確実に行ってください。冷媒がもれる原因になります。

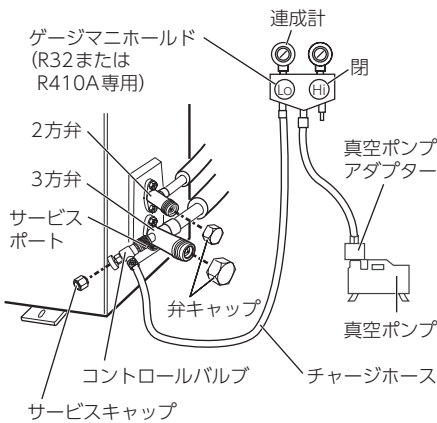
- 古いエアコンが故障等により、ポンプダウンができない場合や配管内が極端に汚れている場合は、配管洗浄するか、新しい配管に交換してください。

9 エアパージ・冷媒もれ確認

■ エアパージ

地球環境保護の観点から、エアパージは真空ポンプ方式でお願いします。

- 太管側（3方弁）のサービスキャップを外す
- 3方弁のサービスポートにコントロールバルブを介してゲージマニホールドのチャージホースを接続する
金具のついている側（虫ピンを押す側）を接続してください。
- ゲージマニホールドの低圧側バルブ（Lo）を全開にする
- 真空引きを10～15分間行い、連成計が-0.1MPa（-76cmHg）になっていることを確認する
- ゲージマニホールドの低圧側バルブ（Lo）を全開にする
- 真空ポンプを停止させる
1～2分間そのままの状態にし、連成計の針が戻らないことを確認してください。（接続部のもれ確認のため）
- 細管側（2方弁）、太管側（3方弁）の弁キャップを外す
- 2方弁の弁棒を六角レンチ（4mm）を使って、反時計方向に90°開き、5秒後に閉じ冷媒もれの確認をする
- サービスポートからゲージマニホールドを外す
- 2方弁を全開にする
（当たりがあるところまで回してください。）
- 3方弁を全開にする
（当たりがあるところまで回してください。）
- 2方弁、3方弁の弁キャップとサービスキャップを取り付ける
トルクレンチを用いて、指定の締付トルク値公差内で、しっかりと締め付けてください。



弁キャップ締付トルク

		キャップの2面幅		適合トルクレンチ
		細管側	太管側	
細管側	φ6.35mm (1/4")	19mm		14～18N・m
太管側	φ9.52mm (3/8")		19mm	14～18N・m

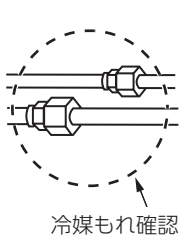
サービスキャップ締付トルク

キャップの2面幅	適合トルクレンチ
17mm	14～18N・m

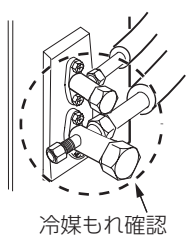
■ 冷媒もれ確認

- 室内ユニット側はフレア部周辺を、室外ユニット側はフレア部周辺・弁棒周辺を、石けん水を塗布してチェックしてください。
- チェック後は、拭き取ってください。
- リークディテクターで冷媒もれ確認をする場合はHFC冷媒対応のものを使用してください。

室内ユニット側

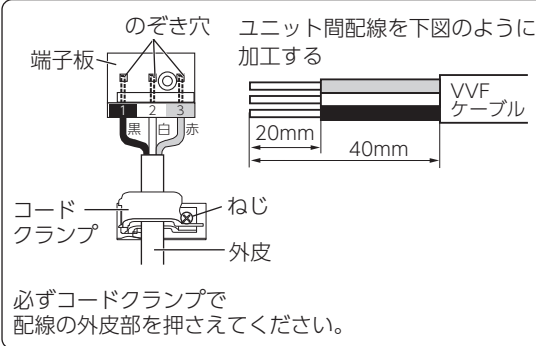
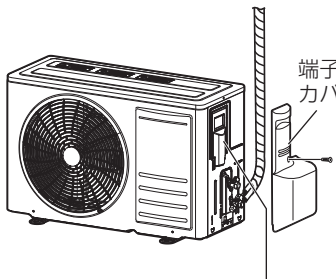


室外ユニット側



10 室外ユニットのユニット間配線

- 端子板カバーを外す
- ユニット間配線の心線を端子板の奥まで確実に挿入する
のぞき穴から心線が見えていること、また、心線のむき代部が見えなくなるまで挿入されていることを確認してください。
配線は必ず、室内ユニットの端子板の番号と合わせてください。
- ユニット間配線の外皮をコードクランプとねじで固定する
- ユニット間配線が確実に固定されているか確認する
- 端子板カバーを取り付ける



VVFケーブルは中継器などを使って中継接続しないでください。
● 中継器を使用すると接触不良を起こして、火災の危険があります。

11 アース工事・漏電しゃ断器・配線用しゃ断器（ブレーカー）

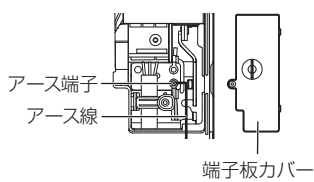
アース工事や漏電しゃ断器・配線用しゃ断器（ブレーカー）の取り付けは、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」にしたがって電気工士が必ず行ってください。

■ アース工事

必ずアース工事を行ってください。
（行っていないと、通電時にエアコン本体に触れたとき、電気を感じる場合があります。）

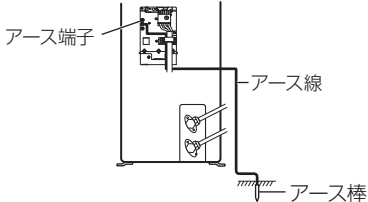
- アース工事は、電気工事士の資格がある方が行ってください。
- 接地抵抗は100Ω以下にしてください。（漏電しゃ断器を取り付けた場合は500Ω以下にしてください。）
- アース棒およびアース線は市販品を使用してください。
- 室内ユニット・室外ユニットのいずれか一方に対し、アース工事をしてください。
- 製品に取り付けているアース端子以外のねじは絶対に使用しないでください。

室内ユニットアース線の配線例



- ①前面パネルを開け、エアフィルターを外します。
- ②端子板カバーを外します。
- ③アース線をアース端子に接続します。

室外ユニットアース線の配線例



■ 配線用しゃ断器（ブレーカー）について

- 配線用しゃ断器の設置は、必ず専用回路を使用してください。

■ 漏電しゃ断器について

- 万一漏電したときの感電防止のため、漏電しゃ断器を設置してください。
- 漏電しゃ断器は、定格感度電流30mA以下、動作時間0.1秒以下の電流動作高感度高速タイプを使用してください。

12 試運転（必ず行ってください）

- ① 表面の注意書・包装用シール・テープをすべて外してください。
- ② コンセントに電源プラグを差し込みます。
- ③ リモコンの「冷房」を押し、設定温度を16℃にします。
・約3分後に室外ユニットが運転を開始し、冷風を吹き出します。

3分間再起動防止タイマーについて

エアコンを起動するときや運転を切り替えたときなどは、約3分間運転が始まらない場合があります。これは本体保護のためで、故障ではありません。

- ④試運転確認終了後、「停止」を押し、運転を停止します。

13 点検 — 配管工事完了後 —

□の中に✓印を入れて確認し、このチェックシートをお客様にお渡しください。

- 据付場所は、エアコンの重量に十分に耐え、騒音や振動が増大しない場所です。
- 電源は専用回路を使用し、電源電圧に問題のないことを確認しました。
- 電源コードの中間接続や延長コードの使用、タコ足配線は行っていません。
- コンセントと電源プラグにがたつきはありません。
- 内外接続線の中間接続は行っていません。
- アース線の接続は確実に行いました。
- 壁穴部のシールは確実に行いました。
- 配管接続部のリークテストを行い、冷媒がもれていないことを確認しました。
- 配管は断熱材でしっかり覆い、テープでシールしました。
- 2方弁・3方弁両方の弁棒は全開にしました。
- 室内ユニットに水を流して、確実に排水されることを確認しました。
- 試運転を行い、冷房運転が正常であることを確認しました。
- かんたん操作ガイドやWeb取説をもとに、お客様に正しい取扱方法と運転方法を説明しました。

確認日： 年 月 日

確認者：

工事（施工）会社名：

問い合わせ先 電話番号：